

参考資料1 住民意向調査

1. 住民意向調査の概要

(1) 住民意向調査の目的

都市計画マスタープランの策定にあたり、都市整備やまちづくりに係る市民の意識を把握し、これを計画づくりに十分反映させることを目的とします。

(2) 住民意向調査の方法

調査地域	南島原市全域
調査対象	18歳以上の男女
標本数	3,000票
抽出方法	南島原市在住の18歳以上の男女から無作為抽出
調査方法	郵送による配布・回収
調査時期	平成23年12月

(3) 回収状況

回収数	911票	▼地域別内訳																								
		<table border="1"> <tr> <td>深江町</td> <td>124票</td> <td rowspan="2">205票</td> </tr> <tr> <td>布津町</td> <td>81票</td> </tr> <tr> <td>有家町</td> <td>127票</td> <td rowspan="2">249票</td> </tr> <tr> <td>西有家町</td> <td>122票</td> </tr> <tr> <td>北有馬町</td> <td>56票</td> <td rowspan="2">165票</td> </tr> <tr> <td>南有馬町</td> <td>109票</td> </tr> <tr> <td>口之津町</td> <td>138票</td> <td rowspan="2">287票</td> </tr> <tr> <td>加津佐町</td> <td>149票</td> </tr> <tr> <td>不明</td> <td colspan="2">5票</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td colspan="2">911票</td> </tr> </table>	深江町	124票	205票	布津町	81票	有家町	127票	249票	西有家町	122票	北有馬町	56票	165票	南有馬町	109票	口之津町	138票	287票	加津佐町	149票	不明	5票		合計
深江町	124票	205票																								
布津町	81票																									
有家町	127票	249票																								
西有家町	122票																									
北有馬町	56票	165票																								
南有馬町	109票																									
口之津町	138票	287票																								
加津佐町	149票																									
不明	5票																									
合計	911票																									
回収率	30.4%																									

※ 集計について

- ・地域別の集計については、都市計画マスタープランの地域別構想のベースとなる次の4つの地域区分において集計しています。

○深江町・布津町
○有家町・西有家町
○北有馬町・南有馬町
○口之津町・加津佐町



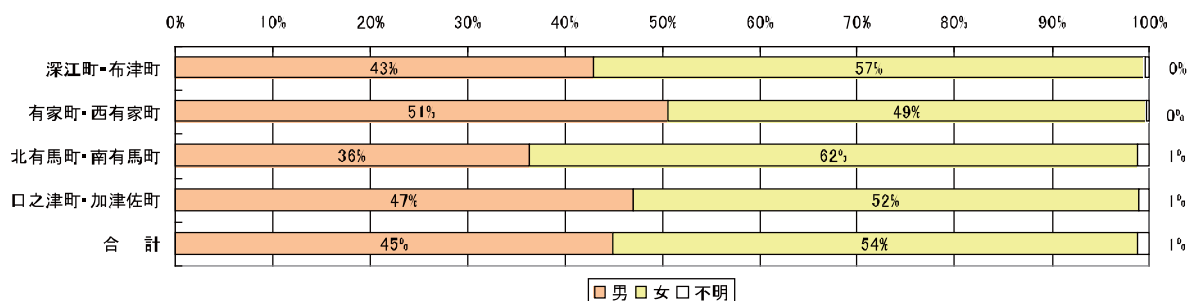
2. 住民意向調査結果

(1) 回答者の情報について

問1	性別
----	----

回答者の性別は、「女性」が54%、「男性」が45%、「不明」が1%であり、やや「女性」が多くなっています。

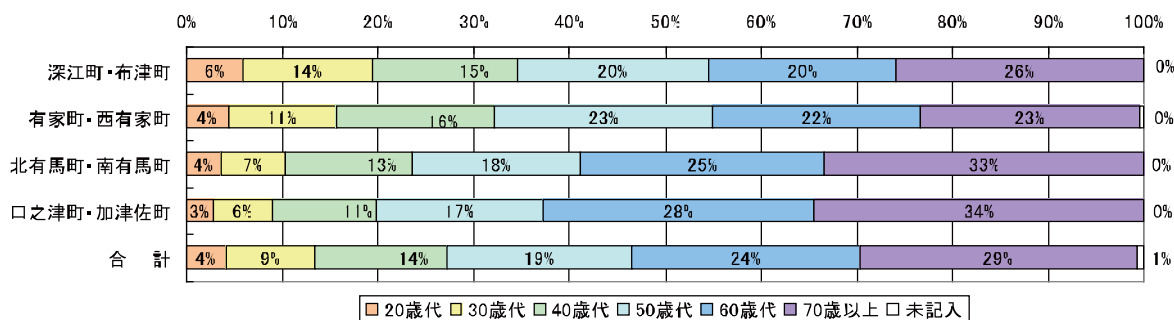
	性別						総計	
	男		女		不明			
深江町・布津町	88	43%	116	57%	1	0%	205	100%
有家町・西有家町	126	51%	122	49%	1	0%	249	100%
北有馬町・南有馬町	60	36%	103	62%	2	1%	165	100%
口之津町・加津佐町	135	47%	149	52%	3	1%	287	100%
未記入・不明	1	20%	0	0%	4	80%	5	100%
合計	410	45%	490	54%	11	1%	911	100%



問2	年齢
----	----

回答者の年齢は、「70歳以上」が29%と最も多く、次いで「60歳代」24%、「50歳代」19%、「40歳代」14%、「30歳代」9%、「20歳代」が4%の順であり、半数以上が60歳以上となっています。

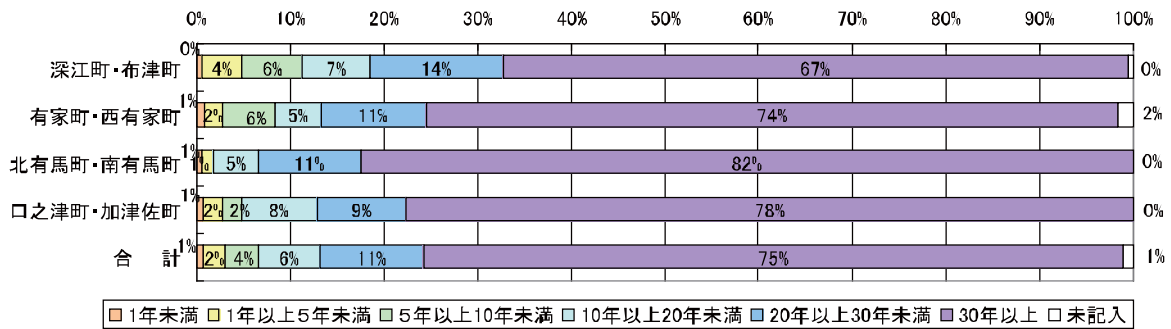
	年齢														総計	
	20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		未記入			
深江町・布津町	12	6%	28	14%	31	15%	41	20%	40	20%	53	26%	0	0%	205	100%
有家町・西有家町	11	4%	28	11%	41	16%	57	23%	54	22%	57	23%	1	0%	249	100%
北有馬町・南有馬町	6	4%	11	7%	22	13%	29	18%	42	25%	55	33%	0	0%	165	100%
口之津町・加津佐町	8	3%	18	6%	31	11%	50	17%	81	28%	99	34%	0	0%	287	100%
未記入・不明	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	5	100%	5	100%
合計	37	4%	85	9%	125	14%	177	19%	217	24%	264	29%	6	1%	911	100%



問3 居住年数

回答者の居住年数は、「30年以上」が75%と最も多く、次いで「20年以上30年未満」が11%の順となっており、10年以上の居住者が9割を超える結果となっています。

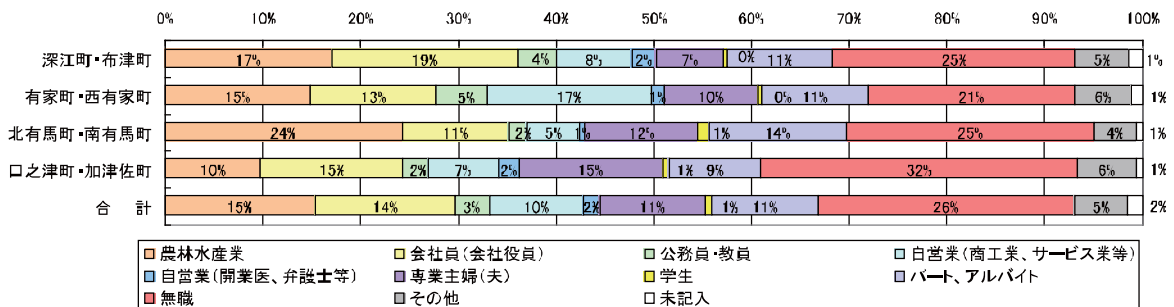
	居住年数														総計	
	1年未満		1年以上5年未満		5年以上10年未満		10年以上20年未満		20年以上30年未満		30年以上		未記入			
深江町・布津町	1	0%	9	4%	13	6%	15	7%	29	14%	137	67%	1	0%	205	100%
有家町・西有家町	2	1%	5	2%	14	6%	12	5%	28	11%	184	74%	4	2%	249	100%
北有馬町・南有馬町	1	1%	2	1%	0	0%	8	5%	18	11%	136	82%	0	0%	165	100%
口之津町・加津佐町	2	1%	6	2%	6	2%	23	8%	27	9%	223	78%	0	0%	287	100%
未記入・不明	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	5	100%	5	100%
合計	6	1%	22	2%	33	4%	58	6%	102	11%	680	75%	10	1%	911	100%



問4 職業

回答者の職業は、「無職」が26%と最も多く、次いで「農林水産業」15%、「会社員（会社役員）」14%、「専業主婦（夫）」「パート、アルバイト」がともに11%の順となっています。地域別に見ると、北有馬町・南有馬町の「農林水産業」が24%と他地域より多く、また、深江町・布津町の「会社員（会社役員）」が18%と他地域よりやや多くなっています。

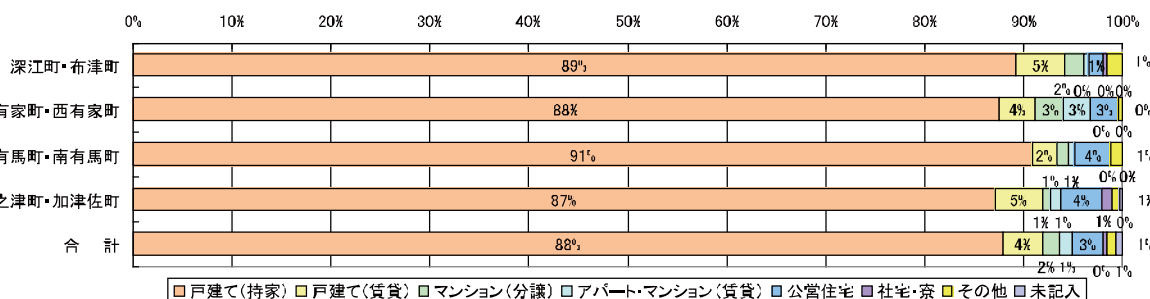
	職業																	総計						
	農林水産業		会社員(会社役員)		公務員・教員		自営業(商工業、サービス業等)		自営業(開業医、弁護士等)		専業主婦(夫)		学生		パート、アルバイト		無職			その他		未記入		
深江町・布津町	35	17%	39	19%	8	4%	16	8%	5	2%	14	7%	1	0%	22	11%	51	25%	11	5%	3	1%	205	100%
有家町・西有家町	37	15%	32	13%	13	5%	42	17%	3	1%	24	10%	1	0%	27	11%	53	21%	14	6%	3	1%	249	100%
北有馬町・南有馬町	40	24%	18	11%	3	2%	9	5%	1	1%	19	12%	2	1%	23	14%	42	25%	7	4%	1	1%	165	100%
口之津町・加津佐町	28	10%	42	15%	7	2%	21	7%	6	2%	42	15%	2	1%	27	9%	93	32%	17	6%	2	1%	287	100%
未記入・不明	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	5	100%	5	100%
合計	140	15%	131	14%	31	3%	88	10%	15	2%	99	11%	6	1%	99	11%	239	26%	49	5%	14	2%	911	100%



問5 住宅様式

回答者の住宅様式については、「戸建て（持家）」が88%と最も多く、次いで、「戸建て（賃貸）」4%、「公営住宅」3%、「マンション（分譲）」2%の順となっており、ほとんどの回答者が戸建ての住宅に住んでいることがわかります。

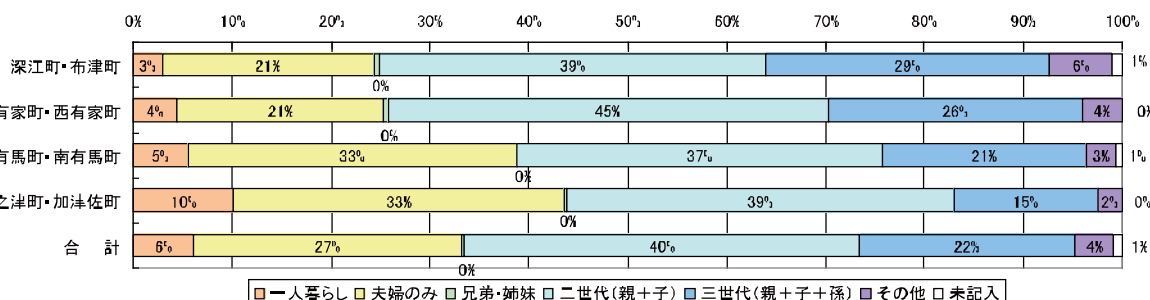
	住宅様式														総計			
	戸建て（持家）		戸建て（賃貸）		マンション（分譲）		アパート・マンション（賃貸）		公営住宅		社宅・寮		その他				未記入	
深江町・布津町	183	89%	10	5%	4	2%	1	0%	3	1%	1	0%	3	1%	0	0%	205	100%
有家町・西有家町	218	88%	9	4%	7	3%	7	3%	7	3%	0	0%	1	0%	0	0%	249	100%
北有馬町・南有馬町	150	91%	4	2%	2	1%	1	1%	6	4%	0	0%	2	1%	0	0%	165	100%
口之津町・加津佐町	250	87%	14	5%	2	1%	3	1%	12	4%	3	1%	2	1%	1	0%	287	100%
未記入・不明	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	5	100%	5	100%
合計	801	88%	37	4%	15	2%	12	1%	28	3%	4	0%	8	1%	6	1%	911	100%



問6 世帯構成

回答者の世帯構成は、「二世帯（親＋子）」が40%と最も多く、次いで、「夫婦のみ」27%、「三世帯（親＋子＋孫）」22%、「一人暮らし」6%の順となっています。地域別に見ると、口之津町・加津佐町の「一人暮らし」が10%と他地域と比較して多く、また、深江町・布津町の「三世帯（親＋子＋孫）」が29%と他地域よりやや多くなっています。

	世帯構成								総計							
	一人暮らし	夫婦のみ	兄弟・姉妹	二世帯(親＋子)	三世帯(親＋子＋孫)	その他	未記入									
深江町・布津町	6	3%	44	21%	1	0%	80	39%	59	29%	13	6%	2	1%	205	100%
有家町・西有家町	11	4%	52	21%	1	0%	111	45%	64	26%	10	4%	0	0%	249	100%
北有馬町・南有馬町	9	5%	55	33%	0	0%	61	37%	34	21%	5	3%	1	1%	165	100%
口之津町・加津佐町	29	10%	96	33%	1	0%	112	39%	42	15%	7	2%	0	0%	287	100%
未記入・不明	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	5	100%	5	100%
合計	55	6%	247	27%	3	0%	364	40%	199	22%	35	4%	8	1%	911	100%

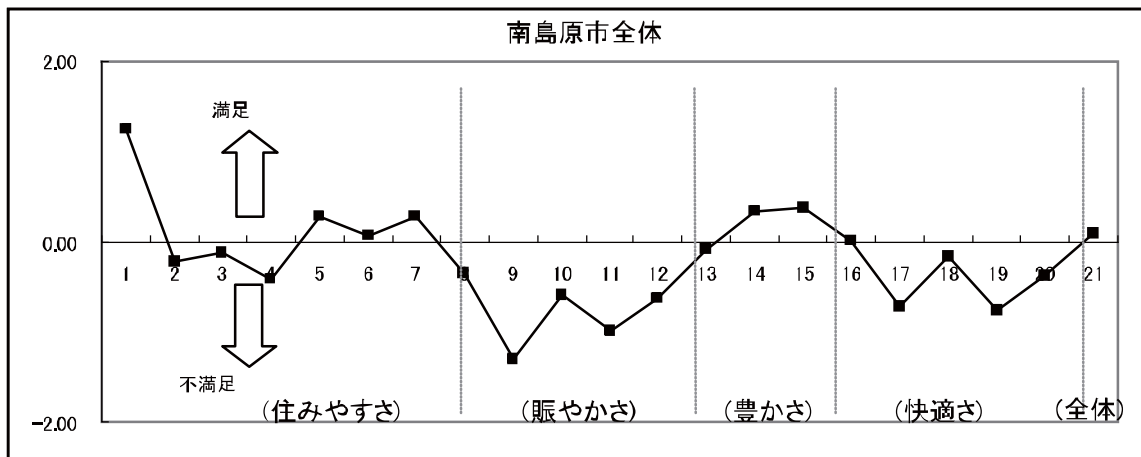


(2) 現在の生活環境について

問7 住環境の満足度

南島原市全体の満足度を見ると、満足度が高い項目は、「自宅周辺での緑の豊かさや日当たり、静けさ」、次いで「山や川などの自然の豊かさ、きれいさ」となっています。

不満度については、「働き場所の多さ」が最も高く、次いで「娯楽やレジャーをする場所・施設の多さ」「バスなどの公共交通機関の利用のしやすさ」「歩道の歩きやすさ、自転車や車いすなどの利用のしやすさ」の順に高くなっています。



【回答番号】

(住みやすさ)

1. 自宅周辺での緑の豊かさや日当たり、静けさ
2. 身近に遊べる小さな公園や広場の利用しやすさ
3. 街路樹や生け垣、建物などの街並みの美しさ
4. 地震や火災・洪水などの災害に対する安心感
5. 大気汚染や水質汚濁、騒音などの公害に対する安心感
6. 病院や保育所などの福祉・保健・医療施設の利用しやすさ
7. 自宅周辺の身近な道路の利用しやすさ

(賑やかさ)

8. 商店の充実など買物の便利さ
9. 働き場所の多さ
10. スポーツなどができる公園・施設の利用しやすさ
11. 娯楽やレジャーをする場所・施設の多さ
12. イベントなどの人や情報が交流する機会の多さ

(豊かさ)

13. 社寺や史跡などの歴史資源の親しみやすさ
14. 図書館や公民館などの文化施設の利用しやすさ
15. 海や山、川などの自然の豊かさ、きれいさ

(快適さ)

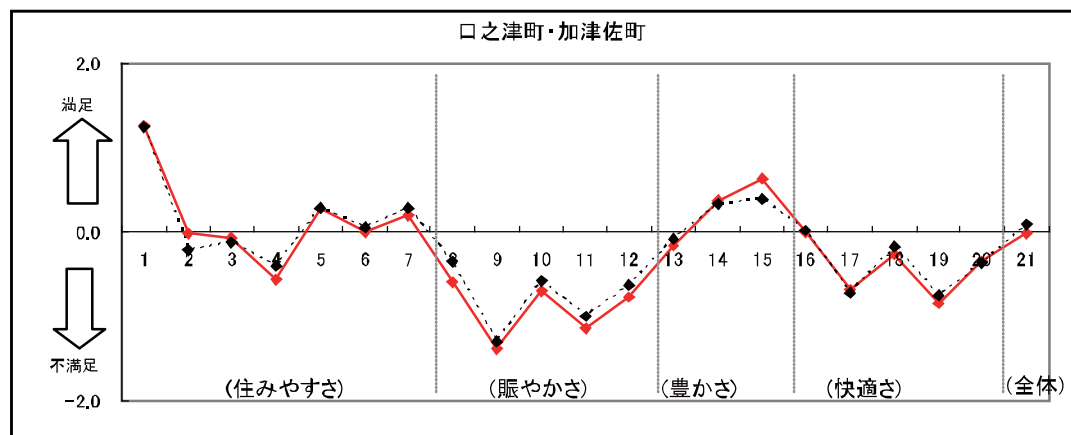
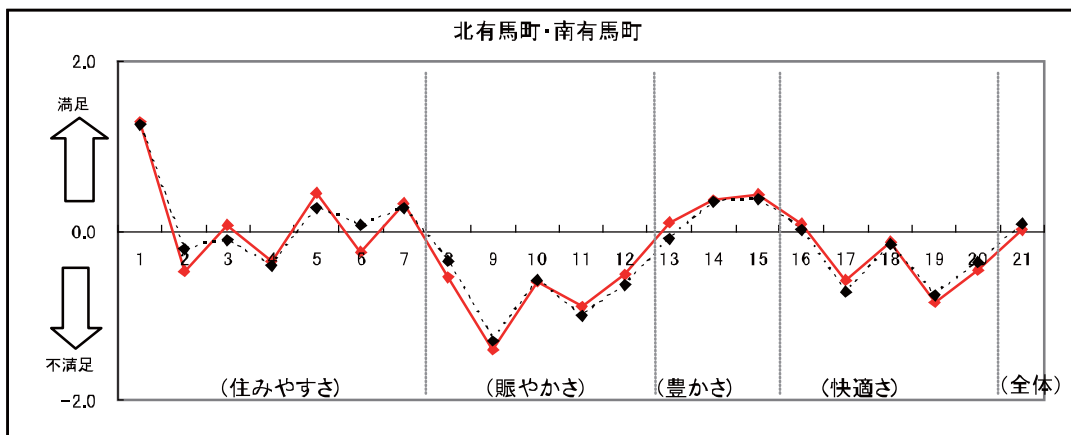
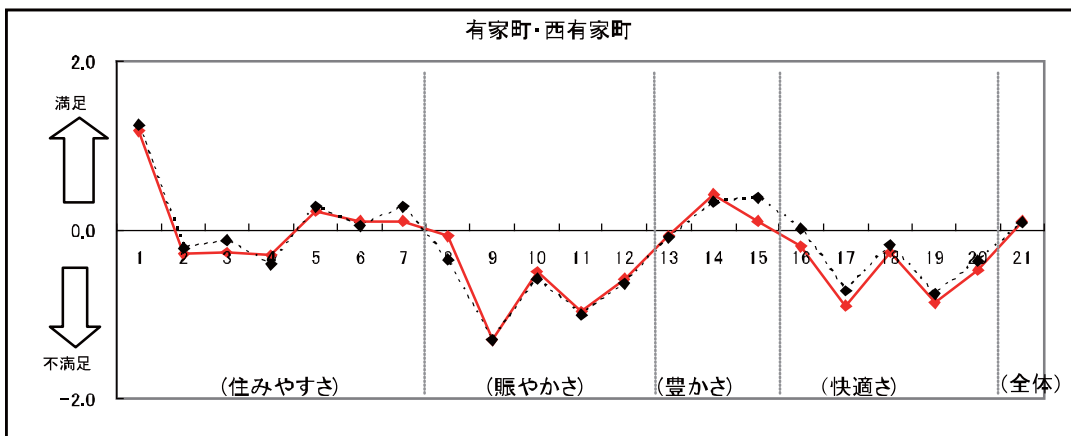
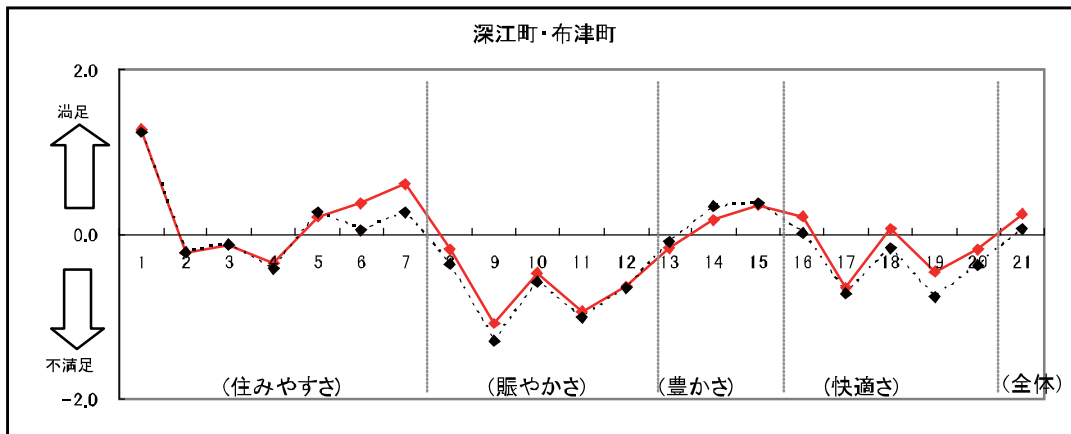
16. 国道などの幹線道路での車の走りやすさ
17. 歩道の歩きやすさ、自転車や車いすなどの利用しやすさ
18. 駐車場や駐輪場の利用しやすさ
19. バスなどの公共交通機関の利用しやすさ
20. 下水道や生活排水施設の整備状況

(全体)

21. 全体的な暮らしやすさ

※満足(不満)度について

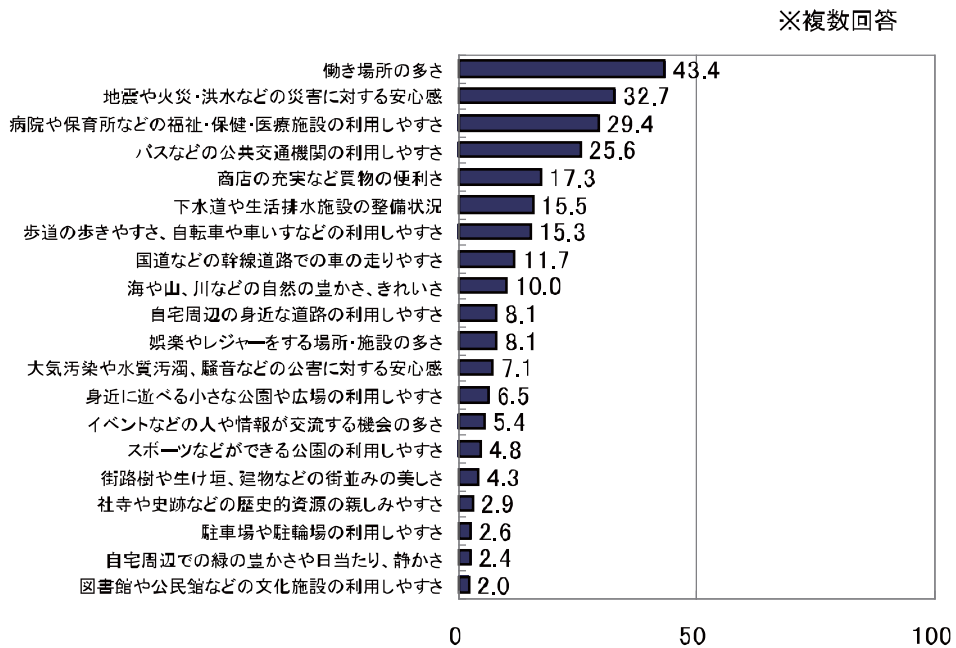
満足2点、やや満足1点、やや不満-1点、不満-2点、わからない0点とし、合計点数を全回答者数で割った値である。



※実線は各地域、波線は市全体の満足度(不満足度)を示す。

問8 今後のまちづくりにおいて特に大事な項目

今後のまちづくりにおいて特に大事な項目については、「働き場所」が43.4%、次いで「地震や火災・洪水などの災害に対する安心感」32.7%、「病院や保育所などの福祉・保険施設の利用しやすさ」29.4%、「バスなどの公共交通機関の利用しやすさ」25.6%、「商店の充実など買物の便利さ」17.3%の順となっています。

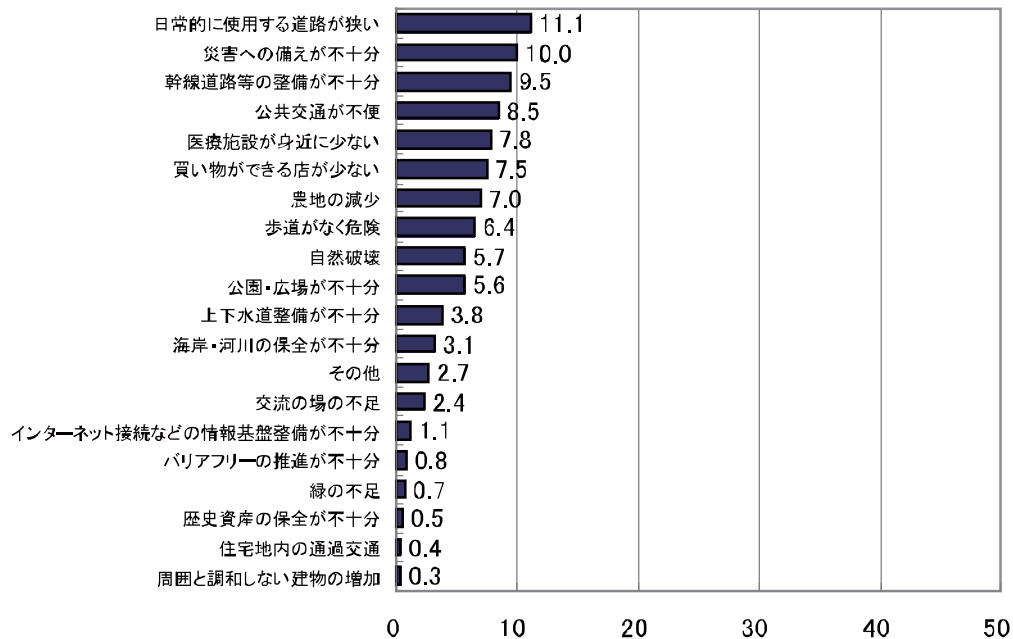


地域	上位3つまでの項目
深江町・布津町	1位 働き場所の多さ
	2位 地震や火災・洪水などの災害に対する安心感
	3位 病院や保育所などの福祉・保健・医療施設の利用しやすさ
有家町・西有家町	1位 働き場所の多さ
	2位 病院や保育所などの福祉・保健・医療施設の利用しやすさ
	3位 地震や火災・洪水などの災害に対する安心感
北有馬町・南有馬町	1位 働き場所の多さ
	2位 地震や火災・洪水などの災害に対する安心感
	3位 病院や保育所などの福祉・保健・医療施設の利用しやすさ
口之津町・加津佐町	1位 働き場所の多さ
	2位 地震や火災・洪水などの災害に対する安心感
	3位 病院や保育所などの福祉・保健・医療施設の利用しやすさ

問9 まちづくりの問題・課題

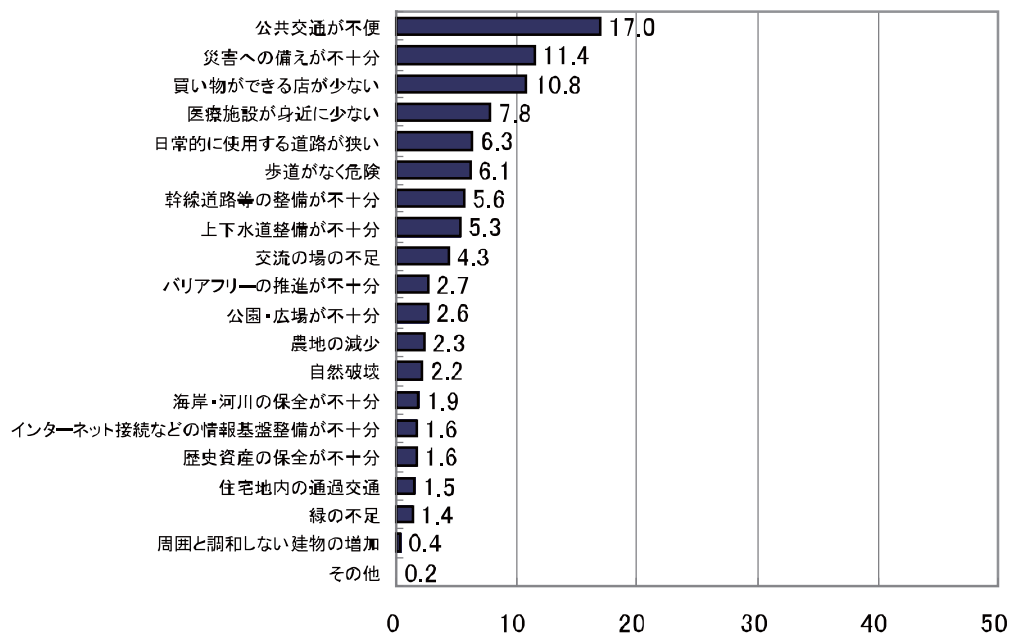
1番目に重要な問題・課題は、「日常的にしようする道路が狭い」11.1%、「災害への備えが不十分」10.0%、「幹線道路等の整備が不十分」9.5%の順となっており、道路に関する項目が上位となっています。

1番目に重要なもの



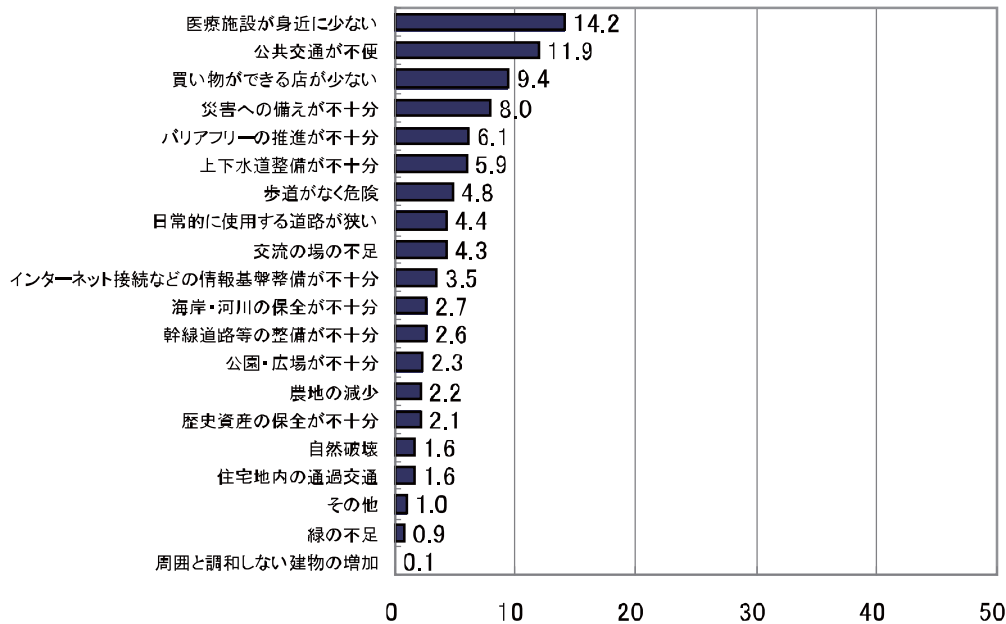
2番目に必要な問題・課題は、「公共交通が不便」17.0%、「災害への備えが不十分」11.4%、「買い物ができる店が少ない」10.8%の順となっており、交通や買物に関するものが上位となっています。

2番目に重要なもの



3番目に重要な問題・課題は、「医療施設が身近に少ない」14.2%、「公共交通が不便」11.9%、「買い物できる店が少ない」9.4%の順となっており、交通に加えて、医療施設や買物の便に関するものが上位となっています。

3番目に重要なもの



地域別に見ると、どの地域においても「公共交通が不便」や「日常的に使用する道路が狭い」などの道路や交通の便に関するものが上位となっています。その中で、深江町・布津町においては、「災害への備えが不十分」が最も多く、口之津町・加津佐町においては、「買い物できる場所が少ない」が最も多くなっています。

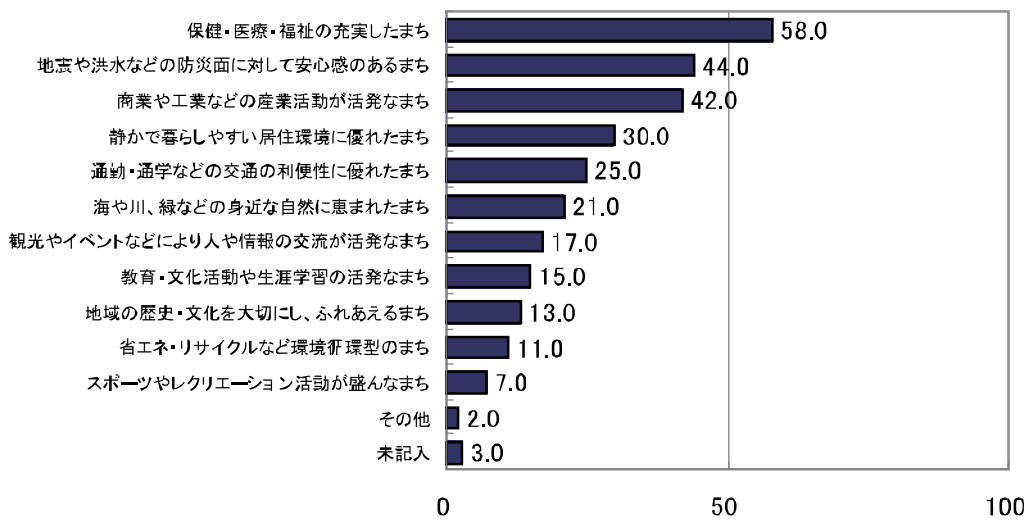
地域	1番目~3番目として1位となった項目
深江町・布津町	1番目 災害への備えが不十分
	2番目 公共交通が不便
	3番目 公共交通が不便
有家町・西有家町	1番目 日常的に使用する道路が狭い
	2番目 公共交通が不便
	3番目 医療施設が身近に少ない
北有馬町・南有馬町	1番目 日常的に使用する道路が狭い
	2番目 公共交通が不便
	3番目 医療施設が身近に少ない
口之津町・加津佐町	1番目 買い物ができる店が少ない
	2番目 公共交通が不便
	3番目 医療施設が身近に少ない

(3) 都市づくりのあり方について

問10 南島原市の将来のイメージ

南島原の将来のイメージは、「保健・医療・福祉の充実したまち」が58.0%と最も多く、次いで、「地震や洪水などの防災面に対して安心感のあるまち」44.0%、「商業や工業などの産業活動が活発なまち」42.0%の順となっています。

※複数回答

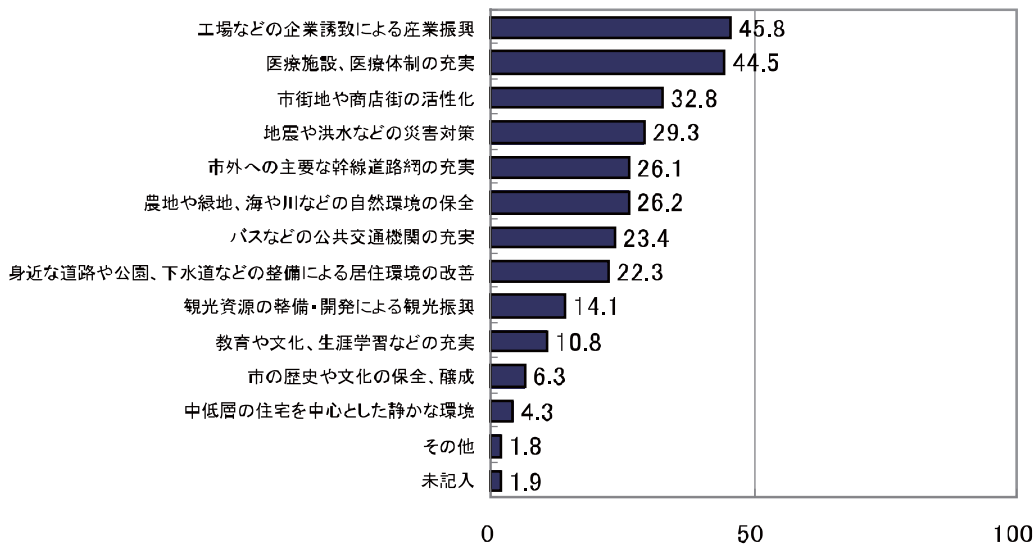


地域	上位3つまでの項目
深江町・布津町	1位 保健・医療・福祉の充実したまち
	2位 地震や洪水などの防災面に対して安心感のあるまち
	3位 商業や工業などの産業活動が活発なまち
有家町・西有家町	1位 保健・医療・福祉の充実したまち
	2位 商業や工業などの産業活動が活発なまち
	3位 地震や洪水などの防災面に対して安心感のあるまち
北有馬町・南有馬町	1位 保健・医療・福祉の充実したまち
	2位 地震や洪水などの防災面に対して安心感のあるまち
	3位 商業や工業などの産業活動が活発なまち
口之津町・加津佐町	1位 保健・医療・福祉の充実したまち
	2位 地震や洪水などの防災面に対して安心感のあるまち
	3位 商業や工業などの産業活動が活発なまち

問11 力を注ぐべき分野

今後力を注ぐべき分野としては、「工場などの企業誘致による産業振興」45.8%が最も多く、次いで、「医療施設、医療体制の充実」44.5%、「市街地や商店街の活性化」32.8%の順となっています。

※複数回答

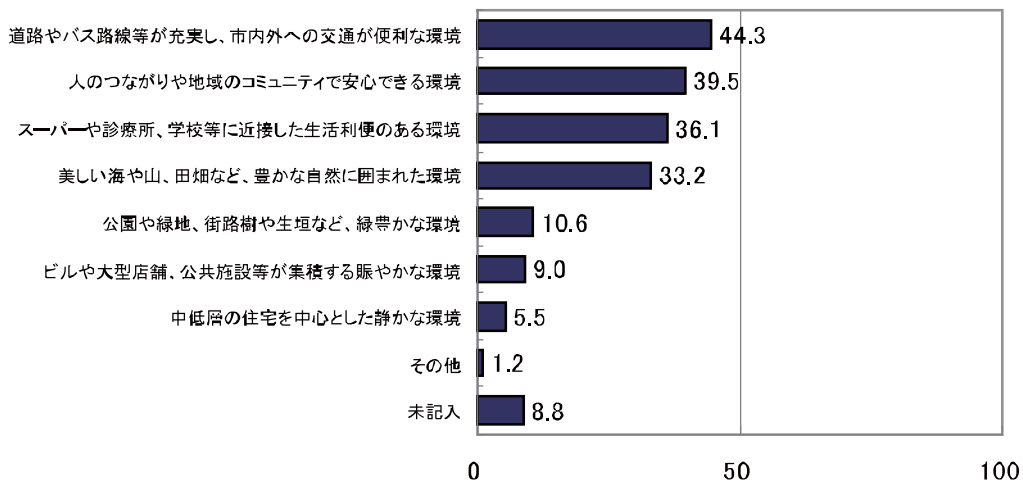


地域	上位3つまでの項目		
深江町・布津町	1位	工場などの企業誘致による産業振興	
	2位	医療施設、医療体制の充実	
	3位	市街地や商店街の活性化	
有家町・西有家町	1位	工場などの企業誘致による産業振興	
	2位	医療施設、医療体制の充実	
	3位	市街地や商店街の活性化	
北有馬町・南有馬町	1位	医療施設、医療体制の充実	
	2位	工場などの企業誘致による産業振興	
	3位	市街地や商店街の活性化	
口之津町・加津佐町	1位	医療施設、医療体制の充実	
	2位	工場などの企業誘致による産業振興	
	3位	市街地や商店街の活性化	

問 12 住環境への要望

住環境への要望としては、「道路やバス路線等が充実し、市内外への交通が便利な環境」が44.3%と最も多く、次いで「人のつながりや地域のコミュニティで安心できる環境」39.5%、「スーパーや診療所、学校等に近接した生活利便のある環境」36.1%の順となっており、日常生活を送る上での便利さや安心感を求めている住民が多い傾向があることが分かります。

※複数回答

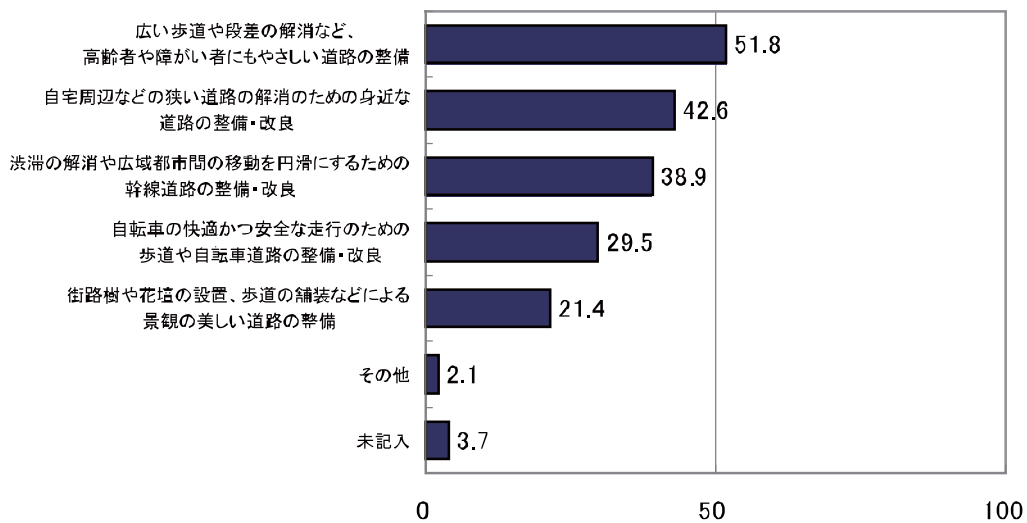


地域	上位3つまでの項目
深江町・布津町	1位 道路やバス路線等が充実し、市内外への交通が便利な環境
	2位 人のつながりや地域のコミュニティで安心できる環境
	3位 美しい海や山、田畑など、豊かな自然に囲まれた環境
有家町・西有家町	1位 道路やバス路線等が充実し、市内外への交通が便利な環境
	2位 人のつながりや地域のコミュニティで安心できる環境
	3位 スーパーや診療所、学校等に近接した生活利便のある環境
北有馬町・南有馬町	1位 道路やバス路線等が充実し、市内外への交通が便利な環境
	2位 人のつながりや地域のコミュニティで安心できる環境
	3位 スーパーや診療所、学校等に近接した生活利便のある環境
口之津町・加津佐町	1位 道路やバス路線等が充実し、市内外への交通が便利な環境
	2位 人のつながりや地域のコミュニティで安心できる環境
	3位 スーパーや診療所、学校等に近接した生活利便のある環境

問13 道路整備に関して優先すること

道路の整備に関する優先度は、「広い歩道や段差の解消など、高齢者や障がい者にもやさしい道路の整備」51.8%、「自宅周辺などの狭い道路の解消のための身近な道路の整備・改良」42.6%、「渋滞の解消や広域都市間の移動を円滑にするための幹線道路の整備・改良」38.9%の順となっています。

※複数回答

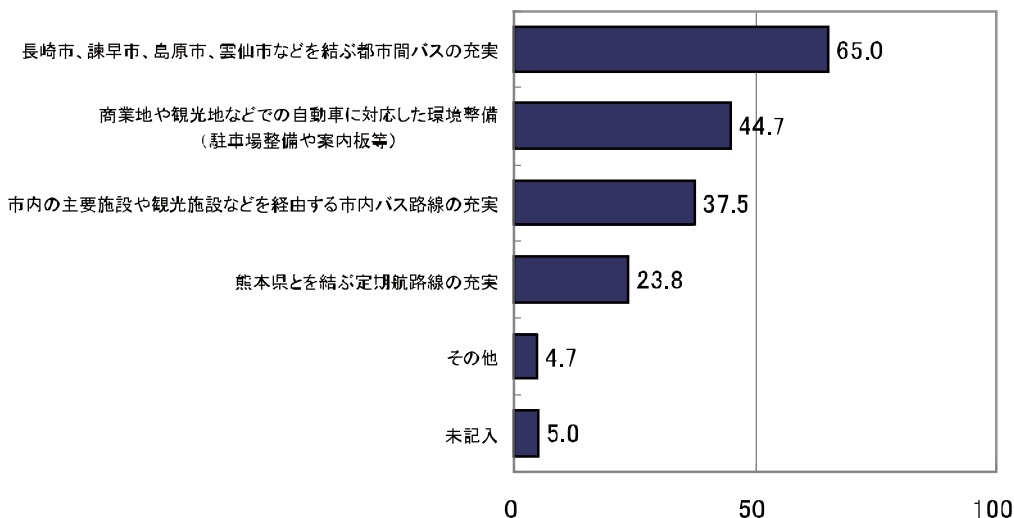


地域	上位3つまでの項目		
深江町・布津町	1位	広い歩道や段差の解消など、高齢者や障がい者にもやさしい道路の整備	
	2位	渋滞の解消や広域都市間の移動を円滑にするための幹線道路の整備・改良	
	3位	自宅周辺などの狭い道路の解消のための身近な道路の整備・改良	
有家町・西有家町	1位	自宅周辺などの狭い道路の解消のための身近な道路の整備・改良	
	2位	広い歩道や段差の解消など、高齢者や障がい者にもやさしい道路の整備	
	3位	渋滞の解消や広域都市間の移動を円滑にするための幹線道路の整備・改良	
北有馬町・南有馬町	1位	広い歩道や段差の解消など、高齢者や障がい者にもやさしい道路の整備	
	2位	自宅周辺などの狭い道路の解消のための身近な道路の整備・改良	
	3位	渋滞の解消や広域都市間の移動を円滑にするための幹線道路の整備・改良	
口之津町・加津佐町	1位	広い歩道や段差の解消など、高齢者や障がい者にもやさしい道路の整備	
	2位	自宅周辺などの狭い道路の解消のための身近な道路の整備・改良	
	3位	渋滞の解消や広域都市間の移動を円滑にするための幹線道路の整備・改良	

問14 交通環境の改善について重要視すること

道路整備以外の交通公共の改善に関して重要視することは、「長崎市、諫早市、島原市、雲仙市などを結ぶ都市間バスの充実」が65.0%と最も多く、「商業地や観光地などでの自動車に対応した整備（駐車場整備や案内板等）」44.7%、「市内の主要施設や観光施設などを経由する市内バス路線の充実」37.5%と続き、鉄道路線が廃線となっている現在、市内外の唯一の公共交通手段となるバス路線の充実を求める声が高くなっています。

※複数回答

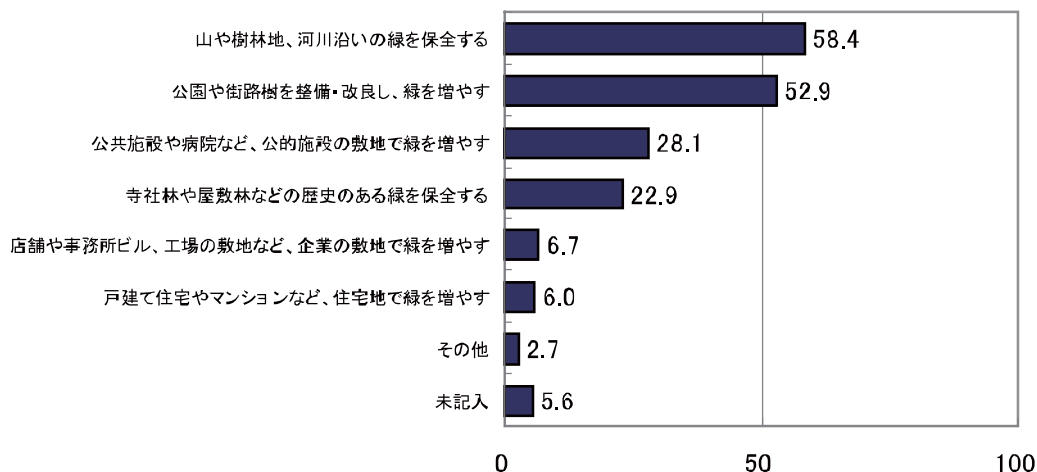


地域	上位3つまでの項目		
深江町・布津町	1位	長崎市、諫早市、島原市、雲仙市などを結ぶ都市間バスの充実	
	2位	商業地や観光地などでの自動車に対応した環境整備 (駐車場整備や案内板等)	
	3位	市内の主要施設や観光施設などを経由する市内バス路線の充実	
有家町・西有家町	1位	長崎市、諫早市、島原市、雲仙市などを結ぶ都市間バスの充実	
	2位	商業地や観光地などでの自動車に対応した環境整備 (駐車場整備や案内板等)	
	3位	市内の主要施設や観光施設などを経由する市内バス路線の充実	
北有馬町・南有馬町	1位	長崎市、諫早市、島原市、雲仙市などを結ぶ都市間バスの充実	
	2位	商業地や観光地などでの自動車に対応した環境整備 (駐車場整備や案内板等)	
	3位	市内の主要施設や観光施設などを経由する市内バス路線の充実	
口之津町・加津佐町	1位	長崎市、諫早市、島原市、雲仙市などを結ぶ都市間バスの充実	
	2位	商業地や観光地などでの自動車に対応した環境整備 (駐車場整備や案内板等)	
	3位	市内の主要施設や観光施設などを経由する市内バス路線の充実	

問15 緑の保全・整備に関して重要視すること

緑の保全・整備に関して重点的に取り組むこととしては、「山や樹林地、河川沿いの緑を保全する」が58.4%と最も多く、次いで、「公園や街路樹を整備・改良し、緑を増やす」52.9%、「公共施設や病院など、公的施設の敷地で緑を増やす」28.1%の順となっています。

※複数回答

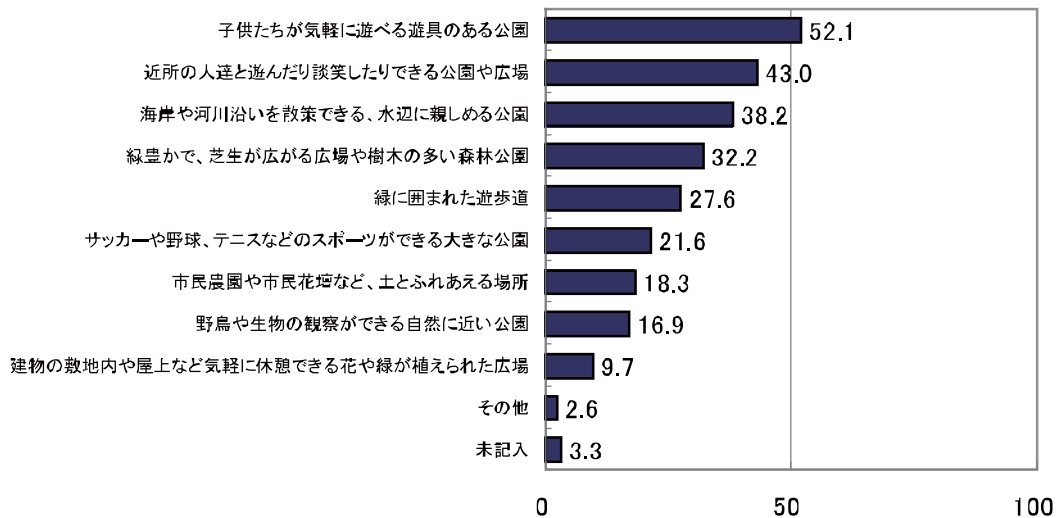


地域	上位3つまでの項目	
深江町・布津町	1位	山や樹林地、河川沿いの緑を保全する
	2位	公園や街路樹を整備・改良し、緑を増やす
	3位	公共施設や病院など、公的施設の敷地で緑を増やす
有家町・西有家町	1位	山や樹林地、河川沿いの緑を保全する
	2位	公園や街路樹を整備・改良し、緑を増やす
	3位	公共施設や病院など、公的施設の敷地で緑を増やす
北有馬町・南有馬町	1位	山や樹林地、河川沿いの緑を保全する
	2位	公園や街路樹を整備・改良し、緑を増やす
	3位	寺社林や屋敷林などの歴史のある緑を保全する
口之津町・加津佐町	1位	山や樹林地、河川沿いの緑を保全する
	2位	公園や街路樹を整備・改良し、緑を増やす
	3位	寺社林や屋敷林などの歴史のある緑を保全する

問 16 公園・緑地に関する要望

公園・緑地に関する要望については、「子供たちが気軽に遊べる遊具のある公園」が52.1%と最も多く、次いで、「近所の人達と遊んだり談笑したりできる公園や広場」43.0%、「海岸や河川沿いを散策できる、水辺に親しめる公園」38.2%の順となっており、身近に利用できる公園・緑地の整備を望んでいる傾向が高いことが分かります。

※複数回答

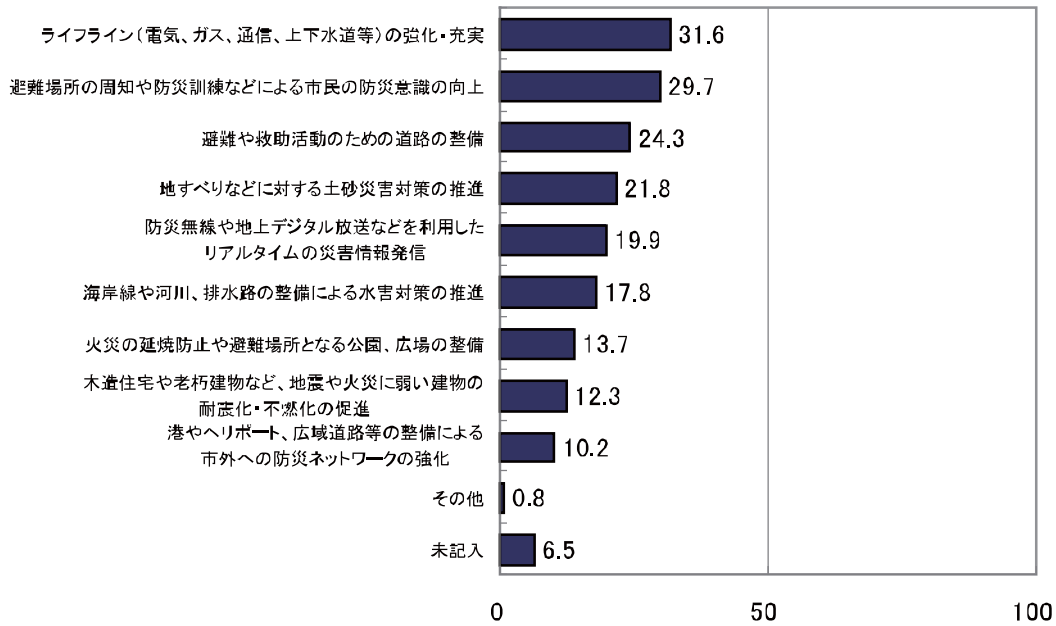


地域	上位3つまでの項目		
深江町・布津町	1位	子供たちが気軽に遊べる遊具のある公園	
	2位	近所の人達と遊んだり談笑したりできる公園や広場	
	3位	緑豊かで、芝生が広がる広場や樹木の多い森林公園	
有家町・西有家町	1位	子供たちが気軽に遊べる遊具のある公園	
	2位	近所の人達と遊んだり談笑したりできる公園や広場	
	3位	海岸や河川沿いを散策できる、水辺に親しめる公園	
北有馬町・南有馬町	1位	子供たちが気軽に遊べる遊具のある公園	
	2位	近所の人達と遊んだり談笑したりできる公園や広場	
	3位	海岸や河川沿いを散策できる、水辺に親しめる公園	
口之津町・加津佐町	1位	子供たちが気軽に遊べる遊具のある公園	
	2位	近所の人達と遊んだり談笑したりできる公園や広場	
	3位	海岸や河川沿いを散策できる、水辺に親しめる公園	

問17 災害に強いまちのため優先すること

災害に強いまちのために優先的に取り組むことについては、「ライフライン（電気、ガス、通信、上下水道等）の強化・充実」が31.6%と最も多く、次いで「避難場所の周知や防災訓練などによる市民の防災意識の向上」29.7%、「避難や救助活動のための道路の整備」24.3%の順となっており、建物やその他の問題箇所の個別の整備よりも、市全体の基盤整備や防災意識の向上を重要視する傾向が伺えます。

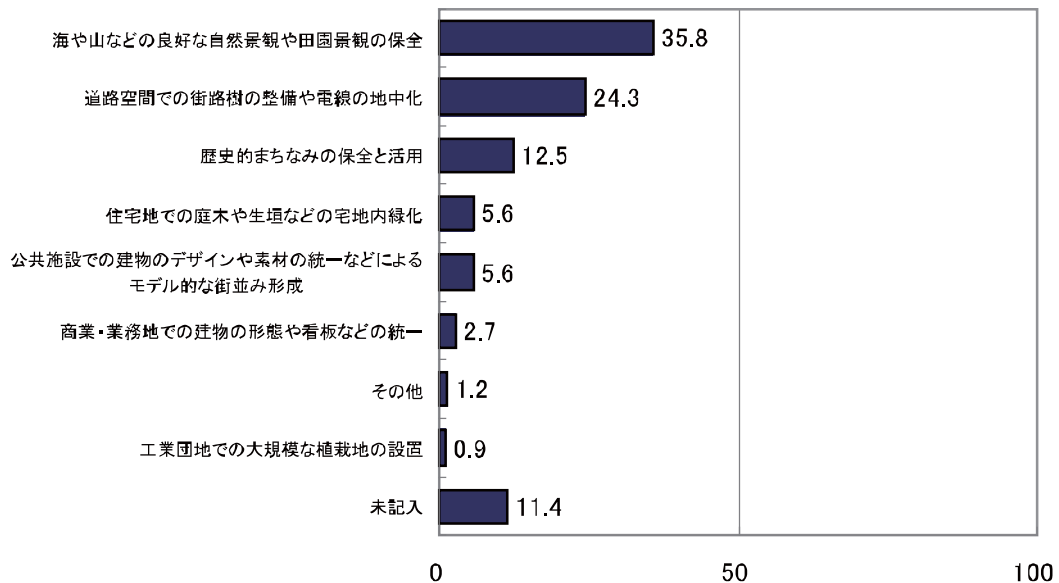
※複数回答



地域	上位3つまでの項目		
深江町・布津町	1位	ライフライン(電気、ガス、通信、上下水道等)の強化・充実	
	2位	避難場所の周知や防災訓練などによる市民の防災意識の向上	
	3位	避難や救助活動のための道路の整備	
有家町・西有家町	1位	ライフライン(電気、ガス、通信、上下水道等)の強化・充実	
	2位	避難場所の周知や防災訓練などによる市民の防災意識の向上	
	3位	避難や救助活動のための道路の整備	
北有馬町・南有馬町	1位	避難場所の周知や防災訓練などによる市民の防災意識の向上	
	2位	地すべりなどに対する土砂災害対策の推進	
	3位	ライフライン(電気、ガス、通信、上下水道等)の強化・充実	
口之津町・加津佐町	1位	避難場所の周知や防災訓練などによる市民の防災意識の向上	
	2位	地すべりなどに対する土砂災害対策の推進	
	3位	ライフライン(電気、ガス、通信、上下水道等)の強化・充実	

問18 美しい景観づくりのため必要なこと

美しい景観づくりのため必要なことについては、「海や山などの良好な自然景観や田園景観の保全」が35.8%と最も多く、次いで「道路空間での街路樹の整備や電線の地中化」24.3%、「歴史的まちなみの保全と活用」12.5%と続きます。



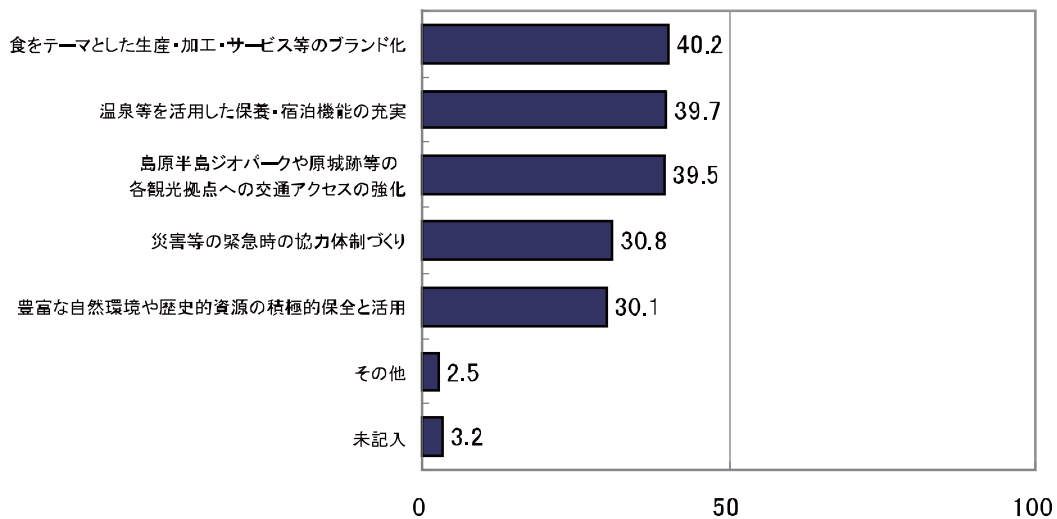
地域	上位3つまでの項目	
深江町・布津町	1位	海や山などの良好な自然景観や田園景観の保全
	2位	道路空間での街路樹の整備や電線の地中化
	3位	歴史的まちなみの保全と活用
有家町・西有家町	1位	海や山などの良好な自然景観や田園景観の保全
	2位	道路空間での街路樹の整備や電線の地中化
	3位	歴史的まちなみの保全と活用
北有馬町・南有馬町	1位	海や山などの良好な自然景観や田園景観の保全
	2位	道路空間での街路樹の整備や電線の地中化
	3位	歴史的まちなみの保全と活用
口之津町・加津佐町	1位	海や山などの良好な自然景観や田園景観の保全
	2位	道路空間での街路樹の整備や電線の地中化
	3位	歴史的まちなみの保全と活用

問19 島原半島の魅力を高めるため重要視すること

島原半島全体の魅力を高めるために必要な取組みについては、「食をテーマとした生産・加工・サービス等のブランド化」「温泉等を活用した保養・宿泊機能の充実」「島原半島ジオパークや原城跡等の各観光拠点への交通アクセスの強化」の3つがそれぞれ約40%となっており、上位の意見となっています。

地域別に見ると、深江町・布津町のみ、「温泉等を活用した保養・宿泊機能の充実」が最上位となっているのに対し、他の3地域は「島原半島ジオパークや原城跡等の各観光拠点への交通アクセスの強化」が最上位となっています。

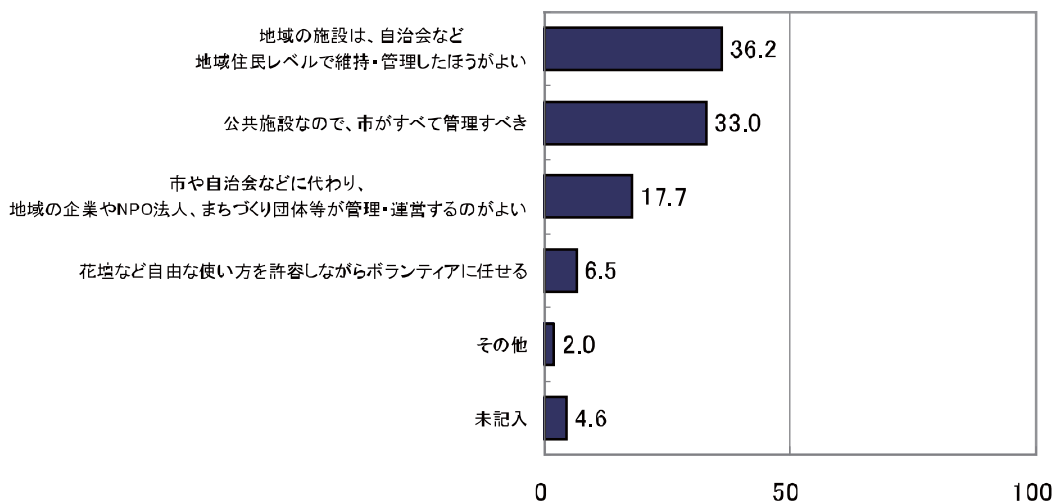
※複数回答



地域	上位3つまでの項目		
深江町・布津町	1位	温泉等を活用した保養・宿泊機能の充実	
	2位	食をテーマとした生産・加工・サービス等のブランド化	
	3位	災害等の緊急時の協力体制づくり	
有家町・西有家町	1位	島原半島ジオパークや原城跡等の各観光拠点への交通アクセスの強化	
	2位	食をテーマとした生産・加工・サービス等のブランド化	
	3位	温泉等を活用した保養・宿泊機能の充実	
北有馬町・南有馬町	1位	島原半島ジオパークや原城跡等の各観光拠点への交通アクセスの強化	
	2位	食をテーマとした生産・加工・サービス等のブランド化	
	3位	温泉等を活用した保養・宿泊機能の充実	
口之津町・加津佐町	1位	島原半島ジオパークや原城跡等の各観光拠点への交通アクセスの強化	
	2位	食をテーマとした生産・加工・サービス等のブランド化	
	3位	温泉等を活用した保養・宿泊機能の充実	

問 20 公共施設の維持管理のあり方

身近な公園や公民館などの公共施設の維持管理のあり方については、「地域の施設は、自治会など地域住民レベルで維持・管理したほうがよい」が36.2%と最も多く、次いで、「公共施設なので、市がすべて管理すべき」33.0%、「市や自治会などに代わり、地域の企業やNPO法人、まちづくり団体等が管理・運営するのがよい」17.7%の順となっています。

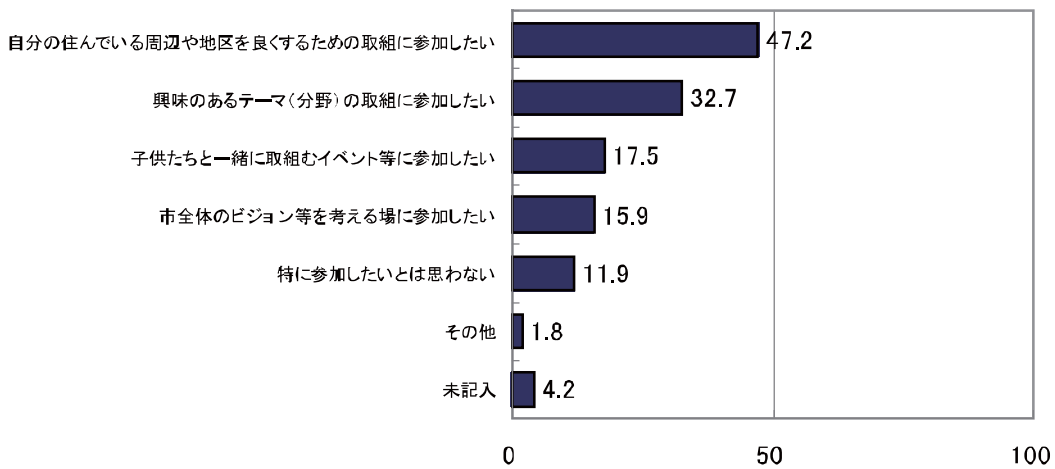


地域	上位3つまでの項目	
深江町・布津町	1位	地域の施設は、自治会など地域住民レベルで維持・管理したほうがよい
	2位	公共施設なので、市がすべて管理すべき
	3位	市や自治会などに代わり、地域の企業やNPO法人、まちづくり団体等が管理・運営するのがよい
有家町・西有家町	1位	公共施設なので、市がすべて管理すべき
	2位	地域の施設は、自治会など地域住民レベルで維持・管理したほうがよい
	3位	市や自治会などに代わり、地域の企業やNPO法人、まちづくり団体等が管理・運営するのがよい
北有馬町・南有馬町	1位	地域の施設は、自治会など地域住民レベルで維持・管理したほうがよい
	2位	公共施設なので、市がすべて管理すべき
	3位	市や自治会などに代わり、地域の企業やNPO法人、まちづくり団体等が管理・運営するのがよい
口之津町・加津佐町	1位	地域の施設は、自治会など地域住民レベルで維持・管理したほうがよい
	2位	公共施設なので、市がすべて管理すべき
	3位	市や自治会などに代わり、地域の企業やNPO法人、まちづくり団体等が管理・運営するのがよい

問 21 まちづくりへの参加への希望

まちづくりへの参加形態については、「自分の住んでいる周辺や地区をよくするための取組に参加したい」が47.2%と最も多く、次いで、「興味のあるテーマ（分野）の取組に参加したい」32.7%、「子供たちと一緒に取組むイベント等に参加したい」17.5%、「市全体のビジョン等を考える場に参加したい」15.9%と続き、「特に参加したいと思わない」と回答した人は11.9%と最も少なく、何らかの形でまちづくりに参加したいと考える回答者が大半を占める結果となっています。

※複数回答



地域	上位3つまでの項目	
深江町・布津町	1位	自分の住んでいる周辺や地区をよくするための取組に参加したい
	2位	興味のあるテーマ(分野)の取組に参加したい
	3位	子供たちと一緒に取組むイベント等に参加したい
有家町・西有家町	1位	自分の住んでいる周辺や地区をよくするための取組に参加したい
	2位	興味のあるテーマ(分野)の取組に参加したい
	3位	市全体のビジョン等を考える場に参加したい
北有馬町・南有馬町	1位	自分の住んでいる周辺や地区をよくするための取組に参加したい
	2位	興味のあるテーマ(分野)の取組に参加したい
	3位	子供たちと一緒に取組むイベント等に参加したい
口之津町・加津佐町	1位	自分の住んでいる周辺や地区をよくするための取組に参加したい
	2位	興味のあるテーマ(分野)の取組に参加したい
	3位	子供たちと一緒に取組むイベント等に参加したい

3. 自由意見

深江 1	一般検診、がん検診などの実施の曜日を平日ではなく土・日・祭日などを利用して行ってほしい。
深江 2	防災、台風、地震等を一刻でも早く住民へ知らせしてほしい。一人暮らしの者、特に高齢者で病気の場合は、精神的に落ち着かず、避難するにも怯えて気持ちと行動が一致せず不安がいつも募る。親戚もなく、近所も家が離れていると放送（マイク）だけが頼り。しかし、マイクも良く聞こえない時もある。各自治会で高齢者の一人暮らしの方へ手を差し伸べてほしい。救急車を呼べない時もある。65歳以上から全員に緊急時専用の電話をつけてほしい 島原では障がい者の方用にあります
深江 3	支所の運営がスムーズでない。地域に詳しい人を少人数置けばいいのでは。
深江 4	細長く寄せ合いの町なので難しい。税金、水道代、ゴミ袋代を安くして下さい。
深江 5	・若者の利用施設を増やすべき。・高齢者を主に考えすぎ。・他県から移住する人のための住宅や環境を作るべき。・役場職員の見直し（職務、態度、対応）（平日の14:00～17:00に女性職員が美容室にいた）・観光客がまた来たいと思うような商品づくり、デザインなど（デザインなどが田舎っぽくてダサイと思う）。
深江 6	なぜ今市民アンケートなのか？これからのまちづくりの前に南島原市職員の「南島原市らしさ」を活かした取り組みをみせてほしい。
深江 7	このアンケートの選択肢が（後半部特に）市の現状に合っていないのでは。選びにくかった。
深江 8	南島原市は今までも仕事が少なく収入が低かった。このまま大型店やコンビニのチェーン店が増え続ければ商店街は死滅し、南島原市に住む若者は、収入、働き場所を失い、住めなくなってしまう。地方都市のあり方、住民の生活、農業のあり方を考え直す必要がある。大型店やコンビニを規制してでも地場産業をもっと大事にして育成していくべきと考える。
深江 9	市外への幹線道路を早急に考えてほしい。とにかく不便で生活しにくい。観光客も誘致しにくい。
深江 10	1. 無駄な経費削減。（例：運動会を町で実施している所への補助金がどうなっているのか？市民体育祭を行っているので、町は実施しないでよいと思う）2. 税の公正化を。未納者には厳重な対処を。3. 高齢化が進むなか、生涯学習（各町の公民館などの施設をしようした講座）の充実を。4. 人権問題にもっと取り組んでほしい。（いまだに自分のことは棚に上げて、勝手なことを言ういいかげんな人が多い）
深江 11	私達は一生懸命働いて税金を納めている。その税金を有意義に活用してもらいたい。会社の経営が悪くなると、人員削減や経費節減をする。お願いだから増税しなくていいように無駄使いをしないで今ある施設を有効活用しよう
深江 12	・市職員の意識向上、汚職のない町にして、正直者がバカを見ない町にまずすること。ジオパークなどその後でもよい。権利を主張する者に義務を遂行させ、納税など100%できるようにすること。
深江 13	「市民協業の町づくり」という南島原市の考え方をもっとアピールしてほしい。知らない人がほとんどだと思う。対立軸から協共同体へ！
深江 14	公園が少ない。大人も子供も遊べる所（場所）がほしい。
深江 15	国道25号線を整備して旧8町が、ひとつの南島原市としてつながる広い道路が欲しい。（今は旧町ごとに251号線が広かったり狭かったりしている）。その道路に街路樹や所どころに花だんなどずらっ～と並んでいたら美しいと思う。幸い251号線は海岸線にも近く、とても車からの景観もすばらしい所が、いっぱいある。
深江 16	一にも二にも諫早市まで早急に自動車道を作ること。今のまま10年過ぎると若者も観光客も減少するばかりで展望が見えない。3市長と中村知事に期待しています。
深江 17	ジオパークの南島原市をもっと全国にアピールしていきたいと思う

深江 18	・大型店舗、小児科が特に少ない。・企業確保のための幹線道路の充実。・休日、祝日の日に役所を開けてほしい。・雇用先が全然ないので、他の県及び市に就職するのは。・島原半島の中で南島原市が一番宿泊先がないのでは。
深江 19	深江町に住んでいるので地元のことを取り上げる。・とにかく海が汚い。家庭で出る残飯等が海に流れている。身近にある海でさえ、子供達が遊ぶに相応しいとは思えない。家庭のゴミを川や海に流し捨てるのは、今のこの時代にもどうかと思う。今一度、海や川の水質を考えてほしい。・歩道が狭い。歩道を歩く人も自転車もシニアカーを利用される方も非常に危険。車道ギリギリを通行されているのをよく見かける。歩道を整備する必要がある。・スーパーも品揃えが悪く、市外へ買物へ行くことが多い。衣類等は特に、医薬品等も市外に人が流れる傾向にあると思う。ますます南島原市が繁栄するよう、私達も市民一人一人が頑張っ、盛り上げるよう願う。
深江 20	・市のテーマが「太陽の恵みと世界遺産のまち」ということで、太陽の活用を図ってほしい。私は南有馬で育ち、現在は深江で生活しているが、同じ市でも、南西は本当に暖かい。ぜひ、口之津都市計画では太陽光発電の利用を検討してほしい。また、同封されている農産物マップの通り、太陽の恵みを受けた野菜、果物類をPRしてほしい。どんなに頑張っても自然しかない市なので、都会のイオンに南島原市コーナーを設けてもらい、そして企画には、市内の小・中・高校生にも加わってほしい。世界遺産についてはよく分からない。
深江 21	・公務員の質の向上（土日も役所は当番で出る）・地元住民との意見交換。・悲質業者、市役所職員の排除。・農振、農転等をすぐ許可するように努力してほしい。農地ばかり大事にしてもまちは栄えない。若者が帰ってくるような市にしてほしい。・会社員は土日以外はほとんど休みはない。役所の書類は平日だけというのは市民に対して失礼。
深江 22	もっと女性の立場からの目線で小さいことから一歩ずつ。
深江 23	当市も年々人口流出が多くなり、過疎化傾向にあるのでその防止策が必要である、施策の一つとして高規格道路（深江～諫早間）の早期完成の促進。そのメリット①企業誘致（雇用の増大）②農産物の流通経路が良くなる③ジオパークや核観光地の活性化
深江 24	道路の段差をなくしてほしい。電動車に乗られている人を見ると不安に感じます。その他たくさん道路を直してほしいところがある。
深江 25	国道 251 号線の歩道は、通学児童が溝蓋の穴に足を取られそうで危険。送球の整備お願い
深江 26	市全体の計画的一斉清掃の実施(年 4～6 回)市職員の自ら参加する事で市民が行動する。自然を活かした環境作り。自然とのふれあう場所の整備(除草・清掃等)島原半島は海・山・水全て他の地域に負けません。本当の街づくり考えたいと思う。
深江 27	街づくりは誰がしているのかわからない。いろんなイベントもどんな場で企画されているのかわかりませんが、毎年違うメンバーで企画しないと同じものの繰り返しではつまらない。10代～40代のいろんなおもしろいアイデアをいろんなジャンルで持っている人間が集まって楽しみめるイベントに期待します。
深江 28	学校統合について、教育委員会と保護者、地域の人々ときちんと話し合ってもらいたい。そして、それぞれの地域の人々の気持ちをくみ取ってもらいたい。相方が納得できるように、一方的に進められたら、決してうまくいかないと思う。教育が一番大切なものの一つと思うから、町づくりに対しても、基本の一つではないのかと思う。教育も、人数が少なくても、学校は残してもらいたい。その地域の人達にとっては大切な場所なのだから。
深江 29	・高速道路(諫早インター)までにかかる時間ももっと短くなると大変便利だと思う。・JRを利用するのも諫早駅周辺の駐車場(公的)がなく、割高の駐車場に限られているため、大変困る。・大村の空港までも時間がかかりすぎる。南島原市はどこに行くにも半島を出るまでに時間がかかるので大変疲れる。交通アクセスが良くなると、もっと人も来るのだろうと思う。

深江 30	・3市が早く統合されて、住みよい市にしてほしい。・南島原市も、もう少し文化面に力を入れてほしい。・市職員の指導をもっと厳しくしてはどうか。
深江 31	南島原市統制後、イベント等に地域差（町別）がある。文化祭（産業祭）、体育祭など平等に実施されるべきではないか。いつまでも町別意識が高く、南島原市としての統一制が感じられない。
深江 32	大型工場、公共施設等を誘致し、若い者が郷土で就職出来る環境をお願い
深江 33	若者が働ける場所が少ない。
深江 34	南島原市これからのまちづくりに対しては雇用を増やすため、農業の助成をやめ、商業関係、建設土木に助成すること。農家はあくまで個人であり、働く場所ではない。できれば大企業を呼び、働く場を作ることにより、人口もふえるのではないかと考える。税金は個人の農業、漁業に使わないこと
深江 35	島鉄跡地の利用を考えてほしい。
布津 1	①小学校は旧町に1校、計8校とする。②中学校は旧町2町に1校、計4校とする。③すべてスクールバスを出す。④水産高校を誘致する。⑤農業人口を増やせるように、公共合同の農場を作る。南島原市でなければできないような農作物を研究する。例えばバナナ等。
布津 2	人口減少により空家が多い。空家が荒れているのを目の当たりにする。空家等は外の地域からでもよいので入っていただき町を活性化するように市で調査し、その橋渡しの役目をしてほしい。経部まで、見守り、住環境を良くしてほしい、報道のためのスピーカーのノイズを少なくしてほしい。（アナウンスによっては聞き取りにくい、）
布津 3	島原半島は自然に恵まれジオパークにも指定されている。外からの観光客を呼び込み、第一次産業に力を入れ、それらを活かすまちづくりをされたら良いと思う。また、歴史遺産、郷土文化を守り、若い世代に受け継いでいくべきだと思う。また、若い人達が残れるように工場が1つでも来ればよいです。
布津 4	・歴史的遺産があちこちにあるので、熊本から島原、南島原、雲仙と観光、温泉ルートができたらいいと思う。・まゆやまロードは本当に珍しく、観光になると思うので、水無川、まゆやまロードも是非観光ルートにつなげてほしい。
布津 5	市会議員の定数を減らすべき。これこそ無駄な税金を使っていると思う。実際、市のために働こうとしている議員は数名しかしないと聞いている。能力不足とも言える。給料泥棒とも言える。
布津 6	南島原市に大きな企業などの誘致が望めない以上、今の産業や農業、漁業、観光などでいかに未来への希望を持てるまちづくりをしていくかは、簡単なことではないと思う。市だけではなく、それぞれの立場の人々が考えを出し合い、話し合わなければと思う。そうした会合の場をつくり、人選も会長や社長といった人ではなく、一般の市民より考えをもとめることが必要だと考える。要望やアイデアはこのスペースでは書く事は無理だと思う。
布津 7	・保健・医療・福祉の充実や教育や働く場所（雇用場所）を増やしてほしい。・小さい子供を持つ子育て世代が働きやすい職場（雇用場所）を増やしてほしい。・医療（小児科）など子供が病気やけがなどで重症の場合、近場の大きな医療施設、対応が不十分なので充実してほしい。・教育の場も充実してほしい。
布津 8	働く場所があり、若い人たちが住みついて自治会など地域住民を支える環境を作してほしい。（仕事やレジャー、保育関係、医療が整ってほしい）
布津 9	鳥栖のアウトレットやフレノポなどの集合の販売店が入る所があると市外から来られる方が増えると思う。温泉等、雲仙などにミニ動物園やミニ遊園地などが出来ると良い。まず、交通のことだと思う。南島原方面まで遠いというイメージが強いよう。（南島原の方が諫早や長崎まで出るのが遠いというように）（有料）例えば100円～150円など有料道路で近くしてみてもどうか。

布津 10	もう少し布津町を活性化してほしい。
布津 11	今はまだ自動車でもどこへでも行けますが、10年後70後半になると、買物なども大変になるのでいろんな品物をバスか何かで近くまで売りに来てほしい。
布津 12	・若者が課yつどうしやすい町づくり、・地域産業の活性化
布津 13	何十年とわたり、野田のバス停の所の横断歩道はあぶないので歩道橋または信号をつけてほしいと学校に届けたりしてきたが、そのままである 一分校に通う、特に野田浜の子供は数人だが、そこを通るのには変わらない。何十年前に子供を通わせていたお年よりに話しても「おいげん子供ば通わせよった時にも何回言うてきたよ」と言われていた。寺田や〇〇地区の子は、横断歩道を渡って帰るが、野田浜地区の子は、ふつ会館の近くの横断歩道を通って帰ってくるには、遠回りである。有家の方からくる車は見にくい。歩道橋をつけていただくと、子供が通るにしても、お年寄りが通るにしても、安心だと思ふし、ラッシュ時の交通の妨げにもならないと思う。
布津 14	雲仙市、島原市には、市民が運動でき、足の悪い方が利用できる温水プールがあるが、南島原市にはない。今後も高齢者は増え続ける。元気で長生きできるためには、介護保険料を減らすためには、冬でも利用できる温水プールが必要だと思っている。有明町の高齢者は元気な方が多いと思う。プールを利用されている高齢者がとても多いのだ。ぜひ、南島原市にも温水」プールの設置をお願いしたい。
布津 15	行政、社協、各自治会代表等々、話し合いの場をもったらどうか。
布津 16	・市民が気軽に参加できるイベントを増やしてほしい。・若い人たちがもっと地域について知る機会を増やしてほしい。地域住民間の付き合いが深まる場所造りなど、市に絆が薄いと思う。・行政が市民の目線になって取る組んでほしい。それを知る機会がない。市民全体に周知できる場を作り、アピールすべき。・若い人達が遊びに来るような環境づくり、住みやすい街づくりが必要。
布津 17	・歴史的資源を活用することには賛成だが、宗教施設、行事等は観光目的にすることは意味がない。そこに信仰がなければ、ただの飾り物でしかないと思う 南島原にしかできない事業や山海の自然を活かした町づくりが必要かと思う。・鉄道もなくなってしまって、今更自転車ごと乗車できる列車があれば、サイクリングや健康福祉、観光にも利用できたのではないか。・市民参加の割には公共施設を利用する際の制限（曜日、時間、調理室の利用など）があるように思われる。縦よりも横のつながり、職員間でも情報を共有してほしい。
布津 18	アンケートが次世代に利用・活用できる町、市になるよう頑張ってもらいたい。（薄い紙資料を取るだけに終わらないように注意！！）
布津 19	若い人達が知り合える婚活が必要だと思う、南島原市に独身の男女が何人いるか、まず、子供達中心の街、若い人達中心の街作りをすぐ考えてほしい。若い人が中心になると街作りも活発化するのではないか。
布津 20	高速までの自動車専用道路がほしい
布津 21	小さい子供がいるので子育てしやすい環境。お年寄りに優しい環境であってほしい。仕事しているのでイベントなどいけないうちがあるので、回数を増やしてほしい。
布津 22	私は10年位前に田舎に来ていつも散歩をしているとカンやスーパーの袋が道にすててある。何でだろうとちょこちょこ持って帰っていましたが、やはりいつも捨ててあるのだからしくてやめてしまった。でもとてもいやなもので一人ひとりが少し気をつけてもらえば美しい街になると思う。島鉄の跡地も私の考えでは言葉では言えないので図を書きます。（線路沿いに花や木を植え、トイレを設置し、ベンチを所々に設置する）
布津 23	・私達は南島原市は毎年少子高齢化が年々進んでいて、とにかく人口減少の歯止めを是非考えてほしい。・それには若い者の流出、若い者の雇用だと思う。・そのためには高速道路の整備をして企業誘致してほしい。・子供達の声が聞こえる活気がある都市にしてほしい。・また、歴史や活火山の研究材料が豊富にあるので、大学誘致もいかなと思っている。・職員の方、南島原市がどう変わるか、期待している。

布津 24	・近くに公園がないので、公園を整備してほしい。 ・それぞれの分野で研修を行う際、助成をお願いしたい。（例えば TPP とか）
布津 25	・布津町に住んでいますが、南島原市の中で布津町だけが図書館と公園がない気がします、公園があっても子どもが遊ぶ遊具がなかったりと、とても不使さを感じます。子どもがのびのびと遊ぶ場所がないので家にとじこもりがちです。 ・図書館も本が少なく残念です。もう少し本に力を入れて欲しいです。未来を担う子ども達がかわいそうに思えます。
有家 1	私が参加してから3年がたちますが、保育料の3人目の子どもから無料の署名がありますが、その件はしてもらえないのでしょうか？南島原市だけができていないのですよ。市に負担がかかるというのわかりますが、役所でだらだらしている人を見たらその人たちの給料の分をまわしてくれればと行くたびに思います。もう少し少子化に配慮し子どもを持つ親のことも考えてみてはいかがかかと思ひます。国道沿いや農道沿いにトイレの施設を作ってみてはどうですか？駅の跡をトイレにするとか、他県から来た人たちも分かるように看板をたて、少し休憩ができるようにしたり、そこに半島マップを作って（観光のできる所、おみやげが買える所、宿泊ができる所など）を置くなりしてみてはいかがでしょうか。若い人が住みやすい南島原市にしてください。子どもをたくさん産んでも安心できる市になりますように。
有家 2	私たち夫婦は市内に職がないため市外に仕事に行っています。そのため、保育園、学童ともに利用しなければなりません。もう少し仕事がたくさんあれば良いのですが、子どもがいるとなかなか難しく、島原の方へと行ってしまいます。それだけ島原市は仕事があり、子どもを育てることができるまちづくりができています。できることなら島原市へ移りたいのですが、南島原市へこれから期待しています。子どもが安心して育てられるように。市の職員の方の問題も片付けてください。税金は払う気になりません。
有家 3	・災害に対して安全なまちづくりを進めてほしい。 ・これからより一層少子化が進むと思うので、高齢化社会に対応できるよう市全体で力を入れてほしい。 ・これからもこういったアンケート調査で市民の声を聞いていってください。
有家 4	南島原市のまちづくりとして緑を守ることは必要だと考えます。市全体を統一するのではなく、いくつかのブロックに分けてそれぞれのテーマをもって作っていくのも面白いかも。例えば北有町が光だとしたら、水、花、樹、風など
有家 5	・以前、島原市にゆめタウン誘致の話があり、結局できませんでしたが、有家、西有家の埋立地等にもあのような大型施設を誘致してもらいたい。日常生活の買い物は間に合うが、休日になると行く所がなく、長崎市内、熊本、福岡に流れていっていると思う。 ・公園も、マリナーパークは遊具が少ないし、みそ五郎は高台にありすぎて坂が危険（子どもは走り回るので、下りで必ず転びます）。島原のひょうたん池のような公園を整備してほしい。 ・市内にだいぶ子育て支援センターは増えたが、肝心の休日や長期休暇など、子どもたちを遊ばせたいときには開いていないので、そういう時にも無料（または1回100円～200円）で思いきり遊ばせられる施設がほしい（白木峰のこどもの城のような）。自分が子どもの頃に比べると便利になりましたが、自分が子育てしてみるとまだまだ不便なことが多すぎます。
有家 6	このアンケートとは関係ないことですが、ゴミ問題で不燃ごみ、資源ごみについて。収集場所が遠く、車を使わないといけな、一人暮らしの年寄りの人はどうするのか。他市では収集に来ているのに。マナーの問題、人件費の問題等あると思うが、結局は不法投棄になることが多くなるのではないかと。環境問題にもつながると思う。
有家 7	・働く場所がないので、過疎化してしまい、市が活性しない。 ・合併した長所がなく、人のつながりが浅くなった。まちづくりの案を示してほしい。
有家 8	・1年でも早く最低でも3市が合併すること。 ・島原半島が住みたい所として人々が移って来るようにウェブで発信する。 ・半島から出て行かなくても良いように総合大学を設立。 ・亜熱帯化を前提に防災計画を考える。 ・自動車がなくても（運転できなくても）高齢者が生活しやすいしくみづくり。 ・子供を育てやすい環境。 ・NPO設立の支援。

有家 9	・歴史遺産を大切にしないといけないことも分かるが、それだけでは観光客誘致にならない。もっと他の観光刺激策を考えていかないといけないと思う。(テーマパーク等)・色々まちづくりについての考え方があると思うが、まずは市全体の人口を増やすことが一番大切だと思う。農業も商業も工業も現状の少子高齢化社会では発展はない。高齢者の保障も必要だと思うが、それ以上に少子化に歯止めをかけることが必要だと思う。子供を産み、育てることへの助成が今一番必要だと思う。(中学卒業までの医療費・授業料の無料化等により、子作り・子育てを奨励する)子供が増えればまちは明るくなると思う。
有家 10	高速道路まで1時間かかるため、道路の拡張、整備をしてほしい。南島原市、島原市、雲仙市の3市で島原半島内の道路整備、拡張を行わない限り、企業の誘致および観光客の増加も見込めないと思う。
有家 11	これから先、高齢化にともなって、雑種地が増えてくるので、祭りなどに多額のお金を使わずに少し減らして、その分を自治会や老人会に回し、荒地を耕作してもらい、花のある美しいまちづくりをしたらいいと思う。いただいたお金で花見をしたりして親睦を深めたらいいと思う。
有家 12	・田舎ならではの自然が少なくなったり、荒れてきている感じがする。・手つかずの荒れた田畑、川(有家川等)の整備ができていない。・下水道もまだ垂れ流しの所が多く、家の物を川に捨てたり・・・このままでは海の汚染が進み、魚なども食べられなくなりそう。・昔のモラルがなさすぎである。自分さえ良ければの考えが多く、荒れた所には、ゴミも沢山捨てられていて、都市部より汚い。
有家 13	・南島原市・・・若い者がリターンしてきても働く場所がない。・高齢化を迎える中、町づくりはなかなか大変だと思う。・環境的にはとっても住みやすいと思うが、経済的に安定しないと環境づくりに欠ける税金も集まらないと思う。・税金を有効に使う上で、環境づくりに取り組んでほしい。・人間は食べないと安心して暮らせない、生きていけない、・市長様、副市長様に「民」のノウハウを知られた方を採用されたと聞いた。市民のためにどうぞこれからの「市政」に全力を尽くしてほしい。安心して暮らせる南島原市のために！！
有家 14	堂崎地区は、合併(町の)以来寂れ続けて、中心街も店も減りつつある。活性化を図るために何かできないのだろうか。
有家 15	市民協働というのなら、地域に出て行って座談会等をするべきだ。アンケートはあくまでもアンケートであって、市民の本意を市当局はしっかり聞くべきだ。事なかれ主義をなくし、公務員もどんどん参加してほしい。
有家 16	島原半島全休(3市)の事を考えておかないと南島原市だけの住みよいまちづくりは無理だと思う。3市の連携をしっかり図りその中で南島原市らしさを出していけばいいのではないかと思う。農業のまちなので農業振興にもっと力を入れるべきと思う。
有家 17	南島原市の行政規律が緩んでいるような印象を受ける(職員の不祥事、予算の執行等)。また市長の施設は、財政規律を考えていないような感がある。(行革の不徹底、給食費の無償化等)
有家 18	私は20年後には市の実行は3万人台にまで減少すると思っている。人口減少をいかに食い止めるかを行政も真剣に考えるべき。私は①農業の活性化・地球の人口が100億人になると言われています。食料不足は数十年後には実際にくると思う。それをみすえて実力のある後継者を憂く性すべき。穀物は外国が安価ではいつてくるのは仕方がないので、労働異約的な作物を生産し東南アジアを中心に全国世界に展開していくべき。②3市が連携して島原半島を一つに考えて観光業を見るべきで市は世界遺産を強調されていますが、私は考えると夢みたいな感じ。認定されることは大変よいことだが、認定されるようにいろんな方面を考えて努力すべき。有名な口之津港を生にして何かできないか考えてみれば、まだまだたくさんありますが書ききれないのでまたの機会に。

有家 19	以前実施されいた有家町の産業祭や体育祭のようなイベントが盛んな町となり、地域住民間のコミュニケーション不足を解消すべき。農業が盛んな南島原市だからこそ、南島原市認定の商品化を実施し、市を上げて全国に展開する努力をしていただければ。
有家 20	現在一番不便と思っているのは、有家から諫早、大村、長崎までの道路を考えてもらいたい。
有家 21	アンケートは一通り目を通しましたが、私の場合 84 歳と高齢でもあるし、日常的に横文字が多すぎるので、理解できません。それと時代のスピードに追いつきませんので、一応アンケートにはそれなりに応答したつもりですが、次世代の人にお任せします。
有家 22	・とにかく歩道が不備。老人が増えてきている中、また、車より自転車利用が「エコ」という考えからも、もっと歩きやすく安全な道を確保していただきたい。道を整備しても鳥原など（特に安中地区）のような歩道の確保は少なく「車」中心になっていると思う。・南日線（鳥鉄）の廃止により、大変不便になった。巡回バス（小型でいいのだが）を有料でいいので走らせていただきたい。（市内だけでも）
有家 23	山あり、川あり、海あり、温泉あり、キリシタン文化の歴史あり、このような半島はすばらしく暮らしやすいところと思う。これらを利用した観光施設の充実と若者の雇用の場が必要だと思う。また、電柱、電線は特に景観が悪いと思うため、地中化を希望する。鳥原半島に都市化は必要ないと思う。自然を保護し、その中で人々が暮らせるような半島を目指したいものだ。
有家 24	診療報酬改定、介護見直しにより高齢者の生活に場が、病院、施設から地域へ戻ると期待されている 独居でも要介護者であっても自分の住みなれた地域で安心して生活できるような地域ネットワーク整備やささえていける体制の整備など出来ればよい。子供や家族だけが負担するのではなく地域で役割として支えていければ素晴らしい。地域のおまわりさんは 一時停止、不停止の取り締まりや監視だけでなく、交通整理や、誘導などしてもらいたい。先日老人を誘導していた。このようなことが、明るい町造りになる。
有家 25	要望をだしても今の市長になってから、なにひとつ変わっていない。前市長から受け継いだものだけが実現している。現市長は自分で上の行政に働きかけて欲しい、市長室のいすに座っているだけでは、いけない、市長になったのが間違いではないの？南島原市に住み続けることが不安。
有家 26	主要なバス停には風雨をしのげる壁がほしい。
有家 27	農業、漁業、商業も収益が欲しい。働いても労働に見合ったあった収益がないので、生活が楽ではない。若者の働く場所が欲しい。人間の暮らしの基礎をしっかりともらいたい。それが街づくりを進めるうえで必要なことと思う。
有家 28	息子の嫁さんを見つけれなくて大変困っている。本人の努力不足であろうが、市でも応援をしてほしい。花嫁対策の強化をお願いする。
有家 29	・まず無駄をなくせ。無駄な公共工事はいらぬが、町を発展させるためには、家屋が建たないうちに必要な幅のある大きな道路を作り、基礎を作れ。・若い人が生活できる雇用の場を。人口を増す。・統一した建物と樹木を植え景観を良くし、それぞれの町自体を一つのテーマパークのゾーンのようにし、話題性を持たせ観光客に足を運ばせる。以前議会便りで見たとと思うが（有家運動公園を大きな大会でも呼べるように拡大し、宿泊施設でも作ったらどうか？・みたいな）、公共工事は莫大なお金がかかるし、維持管理する上でも大変だろうが、公園と白崎地区までの景色バツグンで、利用価値のないような海岸線を利用し、大学の学食のように安くボリュームのある食事を地元の食材を使って提供し、道の駅のように特産品や安い宿泊施設を建てる。公園付近に国道につながる道を作り、大型店舗を呼ぶ。大会がある時の交通渋滞の緩和になる。山の幸、海の幸を破格の値段で提供し、大型の道の駅を作る。山の幸、海の幸を出す楽しみと収入ができ、人が集まり、雇用ができ、金が回る。人が集まると店舗が集中し、又雇用が増え、人口が増え、町が活性化し、税収も増える。

有家 30	・都市計画地域に地域・地区を定めて、せめて都市区域内だけでも秩序のある町づくりをしてもらいたい。(街路、下水道等の都市施設計画も) ・旧八町に似たような施設があり、各々の住民も全てに同等、同様な要求を行政に求めているように思えるが、町づくりには住街区や産業、観光レジャー、商業地域など、その行政区において核となる地区・施設がないとしに持っている色々な資源が漠然としてもものに見えてしまう。合併時の重点エリアをもっと生かした町づくりを市民に理解を求めようアピールをしていくべきであると思う。 ・市外からの来訪者に、宿泊施設の不足をよく指摘される。交流人口を増やすには致命的である。
有家 31	問 14 でも書いたが、3県をつないだ交通体系ができれば、自ら市内の幹線道路や歴史や文化が整備される。鹿児島→天草→雲仙→長崎→ハウステンボス、この流れができれば日本有数の観光路線になるだろう。人の流れが活発になれば、本市はいろんな面で追風となる。
有家 32	・一応アンケートに記入したが、全部がそうであるとは思わないが、どちらが良いかわからないところもある。あまり多いので、もう少し、間を少なくした方がいいと思う。あまり変わらない問題もあるので。 ・今は働く場所が一番。人は皆安心して生活ができるということが、皆の幸せだと思う。とにかく、環境のいい市になることを願う。
有家 33	町づくりといっても、まず自治会から始まるのではないか。自治会がしっかり団結するのが大事な事だと思う。老人会、婦人会、子供会、自治会と何事も話し合いの場を持っていくことだと思う。
有家 34	・農地へゆく道路の整備。 ・下水を流す所がないので整備してほしい
有家 35	・景観条例で価値を高めてほしい。 ・農家の高齢化による耕作放棄地になる可能性のある棚田等を農村体験できる観光地として活路を広げてほしい。 ・シネマツーリズム (映画のロケ地の誘致、北九州市のような)
有家 36	・若者が地元で働けるような環境、労働賃金、労働時間の見直し。 ・若者がいないと発展していかない
有家 37	国道の歩道を作って
有家 38	道路整備について、バスの停留所が狭く、車が渋滞し、危ないため、道路を広くするか、渋滞しない広い場所に停留所を変更してほしい。商店街について、ある町に大型店舗等の商業地帯等を集中させる。昔の伝統を守る(行事)、子供の参加する行事。
有家 39	先日有家~加津佐の国道を走っていると西有家(龍石あたり)~南有馬にかけて、手つかずの所が多いように思う(県道小浜北有馬線は道路が広くなり、これかわ変わっていくのか?) 南有馬町は有馬商業がなくなり、鉄道もなくなりさみしい感じ。有馬商業は私の母校であったので何か活用は出来ないか イベントで利用するのもも適しているのでは。島原鉄道の跡にひまわりを植えるというアイデアはとてもいいと思う。国道と並走している部分で歩道がない所には歩道へゆずってもいいと思う。(リアカーをおしていたおばあちゃんが大変そうだった)
有家 40	有家町に住んでいるのでとくにアユ帰りの滝の道路と駐車場の整備をお願いする。
有家 41	老人化した町低年金家庭の税金への取り組み。生活するのに困難でなんとか考えてほしい。
有家 42	・市に何か許可をもらいにいっても、縦割りになっているためか、横のつながりがなく時間がかかり過ぎ。 ・人で色分けしているのか、一部の人の話はよく聞いてくれるみたいだ。もう少し幅広く耳を傾けてほしい。 ・自分達は町をきれいにしたいと思うけど、市が止め過ぎされない。(?意味不明)
有家 43	まだこれから高齢化になり、それにふさわしい都市にもなればと思う。大変だと思いますが頑張る。ありがとう
有家 44	若者にも魅力ある町づくりにしてほしい
有家 45	小学生の子供は挨拶してくれるので気持ちがいい。帰りには私の方が声をかけるようにしている。子供も喜んでいる様子である。

有家 46	島鉄跡地については、遊歩道やサイクリングロードにし、そこを利用したマラソン大会の開催などは、誰と話をしても出てくるのに、一切取り上げられないような気がする。市民の声に耳を傾ける姿勢を持って町づくりの計画を立ててほしい。このアンケートがただの形式に終わらないように願う。
有家 47	製造業など、若い人達が働ける場所が少なすぎると思う。そのため、若い人達が皆県外などに就職しないといけない現状があるので、もっと企業を誘致してもらいたい。
西有家 1	島鉄の線路の跡地を整備して散歩できるような道路にでもしたらどうですか。
西有家 2	市全体が栄えるようにしてほしい。今は中心部だけがにぎわって外に近い方はさびれているように思う。
西有家 3	休耕地が多く山手の方ではイノシシが我が物顔で走り回っています。農作物が荒らされ皆困っています。人口は減ってイノシシは増えるばかりです。
西有家 4	田畑が荒れているが、道路を作るとなると分けてくれない。運動公園も限られており、遠い所にあるため、車に乗れない人は行けない。人が集まるような会社があればいいと思う。仕事をしたくても仕事がないので困っています。
西有家 5	元々、自然豊かな所なので、美しいふるさとをアピールし、若者が残ってくれるように働く所を増やしてほしいです（自分達の子や孫の代と続くように）。やはりバイパス道路は早期に必要だと思われます。（ジオパーク等のアピールをされているようですが、「遠い」という声をよく聞きます。）
西有家 6	地場産業（農業、漁業、製麺業）の振興もまちづくりに必要と思う。若者が安心して働ける等。産業が活性化しないと若い人が働く場が少なくなり、人口減少になる。
西有家 7	僻地に目を配った公共工事をしてほしい。
西有家 8	この財政難の中、南島原市の自然環境の保護と現産業の発展と新産業の発掘、そして交通アクセスの問題など色々山積みですが、1つ1つ折合いをつけて理想に近づけてほしい。
西有家 9	市の計画などを推進していくためには、市の職員と市民が協力すべきと思うが、まず市民がここに住んでいてよかったと思える町になると良いと思う。役所の人を手本になってほしい。役所への信用も薄いと思うので、その辺りから徹底してほしい。色々な手続き等で役所へ行った時の対応が悪すぎるので、対応に関するマナーももっと学んでほしい。市の職員が市民の手本となれば尾他がしに協力できると思う。その他個人情報も全く守られていないので、最低限の仕事はしていただきたい。市民が協力したいと思えるようにすべき。
西有家 10	道路の整備を図り、山間地を有効利用し、その後に美しいまちづくりをしてほしい。
西有家 11	問8 問6で評価した・・・とありますが、問7ではありませんか
西有家 12	職場がないので働く所がほしい。島鉄路線を整備して歩道、中・高生が自転車で通学できるようにしてほしい。
西有家 13	若い人達が住んで元気な市になるよう願っている。
西有家 14	海・山、海の温泉、山の温泉、歴史文化等、良い住環境だと思う。ただ、若者が就業する場所が少なく、高齢化が進むと半島の中で、市の中で、快適に過ごすことを願うしかなく、これから先、車に頼らず生活できるようにと考える。環境はいいのだから、企業誘致より保養地や観光の方が良いのでは。市の特産品、土産品をパックで紹介するなど。
西有家 15	ゴミを捨て（放置）ない。野外へのポイ捨て、河川敷に農作物（トマト、イチゴ、ジャガイモ、カボチャ等）、山に廃棄物（冷蔵庫、古タイヤ）が捨ててある。立て札で注意書き、罰則を提示。山林の小道の草が伸び放置されている。河川敷も同じで、イノシシの住みやすい条件を作っている。高齢者のボランティアを募り、草刈機を貸し出して、草刈りをお願いしてみてもどうか。地域ごとの巡回作業。
西有家 16	長崎市や県外に出る時の道路を整備してほしい。あまりにも時間がかかり過ぎる。
西有家 17	毎日ご苦労様です。私81歳です。あまり良くわかりません。頭の体操になりました。今からもっと寒くなりますが、頑張りましょう。ありがとうございました。

西有家 18	図書館などはいっぱいあるが、スポーツジムやプールなどがあまりないので造ってほしい。
西有家 19	南島原市として、市民全員が誇れるような町づくり、市民の意識が変われるような取組行事があればいいのではないかと旧町（八町）ではなく南島原市民として協力していきたいとすべての人が思えるような市になればいいと思う
西有家 20	公共施設などの大きな物はこれ以上必要ない。それより今ある物をより良く活かしていくアイデアが必要だと思うし、もっといえば「なるべくお金を使わずに何ができるか？」という観点が一番重要だと思う。近接した都市との関連でいうと、ただ単に交通アクセスを良くしたところで見るとモノがなければ、こんな辺りなところになぜか来る人はいないし、“歴史資産”といっても今まで同様の凡庸なイメージをなぞっているだけではなんら魅力はないと思う。それより、今はインターネットなどの手段も充実していることだし、九州・長崎といった狭い地域に限らず、成功している街づくりについて広く学んで、アイデアを膨らませてからこういったアンケートも行えば良いと思う。内容があまりにもバクゼンしていて、このアンケートをとってから何に活かすつもりなのか、まったく見えてこないのが残念。
西有家 21	防犯の面で、街灯の数を増やしてほしいです。（自宅周辺は街灯がほとんどないため、不自由している。）
西有家 22	・路線の跡地が荒れている所があるのできれいにしてほしい。それにその利用王hを考えてもらいたい。・市の花であるひまわりを耕作放棄地などに植えてはどうか、・中山間地に菜の花を植えているがひまわりではだめか。
西有家 23	第一次産業減少は国策で決めて支援する。結婚期にある男女の結婚率を上げて人を増やすことが大事。人口減の原因であり、市が一番に取り組まなければならない。若者の働き場所をつくる。（企業）連れて来る事業。30年前に計画された有明造船等今考えると残念。何もするもの市民が良く考える事です。
西有家 24	少子高齢化にともない、地域の交流が減少しているように思える。隣人同士の助け合いは、欠かせない。隣人同士の談笑の場所が必要。歴史的な町並み、自然を取り入れた地域づくり、遊歩道など健康づくりも意識した社会的な場所は、高齢化社会に備える絶好の機会と言える。
西有家 25	・町づくりは、行政主体より地域住民主体となるような取り組みになるよう行政が積極的に動くこと大切。・アイデアがあったら、ダメでもともとと思って実施する必要があるのでは。
西有家 26	企業の誘致
西有家 27	・川沿いでよく物を燃やしている人がいる。やめてほしい。・バイクの騒音、迷惑している（子供も小さいため）・民間と比べ公務員の住居手当が高くて不公平に感じる。・産婦人科と小児科を増やしてほしい。
西有家 28	同じ町内なのに拓けている所と拓けていない所の差が激しいと思う。特に道路に関しては、市の中心しか整備してくれない。町内でも狭い道はたくさんあるのに、そういう所には目もくれない。自宅周辺で道の通過に苦労している人はいっぱいいると思う。
西有家 29	①活力ある街づくりは、働き場所（職場）の確保のための企業誘致が必要である。まず、諫早からの高速道路を作ってもらいたい。②商店街の活性化が必要。秋葉原のような同一商店街を作り、アピールすること。
西有家 30	諫早、長崎への交通が時間がかかるので、アクセスが悪すぎる。時間短縮のできる道路がほしい。
西有家 31	・車の時代。道路を良くしてもらいたい。・若者の働く場所がほしい。西有家にあった工場ハウセいは多い時には100人働いていたそうであるが、外国で作れば品物が安くできるので、仕方ない。今は世界を見て進まねばならない。
西有家 32	各家庭がソーラーシステムを設置する場合は補助金を出して、電気を原子力発電に頼ることなく、各家庭で作ったり、風力発電等も考えてほしい。人間と原子力の共存はあり得ない。

西有家 33	子どもを連れて遊びに行くところが少ない（公園など）。
西有家 34	南島原市は本当に何も無い市だと思う。若い子達を市に残したいのなら、若い人たちが働きたいと思う職場を作ってあげないといけないと思う。全く特徴のない市、今、現状の島原市には魅力を感じない。諫早、長崎、空港などに行くのも交通の便が悪く、時間のロス。（マイナスしかない）近くでも買物したいと思えるお店がない。大型ショッピングモール等あればわざわざ時間をかけ遠くまで買物に行かなくてすむ。逆に遠くから南島原市の方へ足を運ぶ市外在住の方が増え、市に利益をもたらすかたちになるのでは。もっと長い目で見た市のあり方を考えていただきたいと思う。
西有家 35	南島原特産の手延そうめん振興にもっと宣伝等で頑張ってもらいたい
西有家 36	家の近所にちゃんとした広い公園があるのに、近所の小学生は、公園ではなく、民家の庭や駐車場等に勝手に入り、遊び、物を壊したりする。親は見ても見ぬふりです。何度も私は怒った。そういう、教育等を学校で指導してほしいし、親を学校に呼び出してでも、注意をしてほしい。
西有家 37	島原道路の早期開通（諫早インター～深江）
西有家 38	若い人の働く場所の確保
西有家 39	島原半島は陸の孤島だと思う。同じ長崎県内でも島原はいろんな面において遅れている。とりあえず、高速道路などのような道ができれば地域活性も望める。交通においてはすごく不便。そして遊んだり、買い物できる所がない為、他の県や市に行かないと行けない。本当に住みにくい。
西有家 40	私は名古屋から転住して約6年。何しろこの町は不思議な町です。交通（バス等）の便が一番悪い。車がないと生活出来ません。烏鉄でも市の職員が先頭に立ち電車通勤していたら廃止にならなかった。何事もそうですが、市の職員が口先ばかりでなく身をもって模範となるべき。歩道上に駐車してても知らんぷり。警察は駐車違反を取り締まるべきだ。
西有家 41	食をテーマとした生産・加工のブランド化。
西有家 42	南島原市が災害に強い町であれば良い
西有家 43	景観の統一された町
西有家 44	・高規格道路の早期完成　・若者が定着して働ける場所（企業誘致）
西有家 45	・今の市には、引き寄せられるものがない　だから若者が都会へ行くのではないか。8町それぞれの色を出してみてもどうか。町の特徴を出して（深江はアスパラとかメロン又は清水を利用した農産物を都心へ発信したり）いける市、町づくり、七色ではなく八色のレインボーの市にして、希望をもって住める市にしてほしい。　・それと、子育てにも力を入れたいといけませんが、高齢者の認知、介護予防に力を入れて、少しでもいいので、年に5-6回、集会を行って、体検やマッサージ、又は高齢者の知恵を後継していきたい。
北有馬 1	・自治会活動や災害時に非難できるような集会場や公民館などの施設の建設のための全面的な助成をしてほしい。　・山間地の道路の整備や市民のふれあうようなイベントがほしい。
北有馬 2	少子化のため1人で通学する子供が多くなっている。不審者などの対策やバス停などに外灯などがあると迎えを待つ間、親は少し安心なのだが。（特に暗い道が多いので）
北有馬 3	節電に関する色々な情報を回覧板でもいいのでほしい。
北有馬 4	鉄道がなくなったことで、移動が不便になった。またレールを敷いて鉄道事業を再開できるように環境整備をしてほしい。
北有馬 5	元気な老人が介護が必要な人のお世話をしなければならない時期になりつつある。退職された方々等で地域の公民館等で書く名（みょう）単位で介護のお世話や学童保育等のお世話等、ボランティアでお願いしたらどうか。他県の他の地域ではそういう活動をされているということだが、南島原市も福祉に使うお金をいかに減らすかというボランティアを使う方法しかないのでは。また、一人暮らしの人達が孤独死等しないように、お隣さん同士のつながりを密にするにはどうしたらいいか行政も考えて下さればと思う。

北有馬 6	・企業誘致などで働く場所を作ってほしい。仕事をしたくても働く場所がない。・長崎県は最低賃金が非常に低いと思う。
北有馬 7	・不燃物を出すのが1カ所で不便です。最近車で古新聞を持って行ってくれる人が10kg出すと使用しなくなった電化製品を1個だけ出せるのがあり、すごく助かります、もおな新聞はゴミに出すと言われますが、私もそうしていました。再利用できる物ならそうしてほしいです。・西有家から北有馬に入ったすぐの所、一方通行です。片側の所にちょっと家がなくてゴミがいっぱい捨てられます。南島原市を入れてすてないよう立札を立ててください。
北有馬 8	南島原市になってから、各町の支所にいろんな町の方がこられて、内容を1つ1つ話さなければならぬし、すぐに対応できない方が多すぎます。各支所には、地元の人を置いてほしい。そして、もっと勉強して、すぐ対応できるようにしてほしい。土、日、祭日もいつでも支所へ行ける方に考えてほしい
北有馬 9	老人の方が楽しく暮らせる様にしてほしい。
北有馬 10	北有馬に図書館をつくらなくてもお（部屋をつぶさなくても）南有馬 北有馬でまにあっているが車を運転できない人を考えて出張で本の貸し出し（県の図書館の車が以前は来ていた）も必要では。北有馬はバスの便が口之津行き・島原行きが少ないのもっと増やしてほしい。車を運転しない人のことをもっと考えてほしい。
北有馬 11	若者が南島原市で働ける場所を望む。これが少子化現象に歯止めをかける手段と考える。人口増加によって市政運営も活発となる、高齢者ばかりでは、市も衰退していく、
北有馬 12	・外灯の設置や市に体育館を1つでいいので建ててほしい。・産業祭は各町でなくて市でまとめて行ってはどうか。
北有馬 13	近くに働く所が多い方がよい。
北有馬 14	これから一層、高齢者が増え、少子化の時代になると思うので、その対策に取り組んでほしいと思う。
北有馬 15	市街地や公共施設の整備ばかりでなく、荒れ放題の耕地や、イノシシ対策など、もっと山岡地の整備も（食の産地を将来像にするには）必要だと思う。
南有馬 1	まちづくりも大切でしょうけれど財政は大丈夫でしょうか？市民の数は減り、勤め先もなく、若者は高校卒業後働き先を求め地元に残らないのに。人がいてのまちづくりだと思います。まちをつくる前に、生きるための糧を求める気持ちが強いので、はっきり言って生活に必死で余裕がありません。まちづくりより企業がほしいという思いが強いです。行政の皆様には申し訳ないですけど、無駄使いの感じがします
南有馬 2	地域住民が活動の拠点となる公民館の老朽化が進んでいます。建て替え等に積極的に取り組んでほしい。
南有馬 3	これから社会人になる若い人達の働く場所がもっとあるとよいと思う。
南有馬 4	老人が多くなるので、イベントの充実をお願いしたい。自転車に乗られる老人の交通指導などもお願いしたい。特に危険な方が多くいらっしゃるの。
南有馬 5	映画館が遠くに行かないとないので、近くにできたらいいと思う。
南有馬 6	高齢化が進む中、大学施設や若い人向けの施設、働ける場所を増やしていく必要があると思う。観光施設、宿泊施設、交通アクセスの短縮化が必要だと思う。
南有馬 7	諫早～南島原間の時間短縮道路の必要性を一番に望む。島鉄跡地も国道沿いの泡立草、枯草の茂りの風景はいかにも哀れ、寂しさを誘う。市の花「ひまわり」または何か植樹して並木道にでもしたらどうだろうか。地の恵み、野菜、果物、トマトなど加工ブランド化なども、加工工場などをつくり、若者の仕事として生涯残れる生活基盤を整備し、流出を防ぐことができればよいと思う。
南有馬 8	諫早までの道路の整備を。天草に橋を。
南有馬 9	島鉄跡地の早急な利用を考える。跡地は線路だったため中が1車線分しかなく、自動車道路には利用できない。自転車専用のサイクリング道路にすることにより他地方の人達の利用が増えるので、道路沿いに農産物の販売所を併設すると、農家の農産物の販売促進につながり収入増の手助けになる。

南有馬 10	山手道路において通勤時に車同士離合できない道路が多すぎる。車と通学自転車の離合も大変危険である。早急な対策を。
南有馬 11	議会のインターネット中継を希望します インターネットカメラを一台導入するだけで可能。カメラは一台高くても10万円前後です。パナソニック製でDDNS加入費も月千円。
南有馬 12	一年中どこかで道路工事が行われているように思えるが、歩道が狭かったりないような所もあり、危険だと良く思う。自転車も車道の端を走るにしても大変危険である。島鉄の跡地を利用して自転車専用道路にできたら事故も減り、安心して車も走れると思う。海の幸、山の幸に恵まれた場所なので、毎週、土曜日か日曜日に遠くからでも買い物に来るような魅力的な朝市ができると良い。
南有馬 13	公共施設や文化協会の方々に協力してもらい色々な教室を開いて地域住民の交流に力を入れてほしい。空家など交通の便が人が集まりやすい所で皆がコーヒータイムできる場所。インスタントコーヒーでもいいのでいろんな人が話しが出来たり、預みしりになったり、高齢者前に親しくなりうる場所。(ボランティアで参加してもいいと思っている)
南有馬 14	いのしし対策に力を入れてほしい。農家は大変困っている。雲仙市のように65歳以上の入浴代を安くしてほしい。
南有馬 15	南島原市の地形、位置を考えて将来的には三県が橋の計画を推進するほか、当地の発展は望めないと思う。強くこの計画が推進されることを希望し期待する。
南有馬 16	町づくりは、人口の減少をいかに抑えるか、雇用の場、産業の育成、活性化(一次産業の振興、企業誘致、観光の活性化案)が重要事項。市民が共有する価値観の有形無形の形成と交流の場の確保による一体感の形成、故郷としての郷土愛、誇りとするシンボルを。歴史、文化
南有馬 17	市の町づくりの考え方でいいと思う。
南有馬 18	南島原市に小児科専門の病院があればすごくたすかる、実際私の子供達の小さかった時も島原市の病院までかよっていたのでとても不便に思う。
南有馬 19	1.島原半島と一緒に取り組んで広域農道(特に小浜-愛野間)を作してほしい。2.企業(優良)が少ないので、働ける場所を増やしてほしい(大型企業の誘致)3.熊本-島原半島を結ぶ大型架橋を有家ぐらいに進めてほしい。4.有家、西有家に大型店舗が集中しすぎ、南有馬、口之津、加津佐がさびれる方向にあるので、大型店舗が希望される。
南有馬 20	「市」と名乗るからには、どの地区・地域に住んでいても同じような生活環境であって欲しい(ゴミ収集日の固定化・集め方を統一するなど)
南有馬 21	私自身住むにはよいのだが、愛野や諫早までのアクセスや熊本フェリーの時間など、もっと近くになれば、仕事でも地元からでも通勤できるのではないかと思う。総合病院が市内に出来たらお年寄りの方々も安心して暮らせるのでは。ジオパークや歴史・文化など、素敵なものがある中、南島原市だけでなく、島原半島として、宣伝していった方が、半島が3つになっている分予算も1/3でしょうし、似たようなパンフレットになりそうだし、無駄が減るのではないか。西望公園、早崎、真砂のバスは、ワゴン車ではダメなのか。南島原市がますます元気になっていきますように。
南有馬 22	今さら述べるまでもない事だが、・地区内もしくは近郊地区での就労場所の確保を望む。就労先が少ないが故に、若い人が地元に残ることが出来ない。・併せて、基幹企業である農・漁業の経営安定支援を望む。後継者へ安心して引き継げる経営が出来れば人口の流出にも大きく効果が期待できる。・県央地区へのアクセス時間短縮を望む。現在島原ルートでは道路整備は進行中であるが、南島原市の南日地区においてはメリットはない。小浜ルートの道路整備を切望する。
南有馬 23	・山手の学校が廃校になっても、建物、運動場、駐車場を災害用の避難場所として残しておいてほしい。廃校になった場合、地域の交流の場所にしてほしい。・原城跡の畑、田を地主から買った所が、ビニールハウスのビニールやマルチ、マルチのはりがね、農業機械などが捨ててあってゴミとなっている。・北有馬の墓石で出来た階段は見に行っても感動がない。保全のために埋めてあるので分からない。防弾ガラスなどで囲ったりして見られるようにしてほしい。

南有馬 24	買物にいく所、大型スーパー（パロス）のようなところがほしい。
南有馬 25	口之津町は良港の自然に恵まれながら、資料館だけでなく、口之津公園をもっと整備整地して、公園瀬高観音灯台として生かされたらと思う。
南有馬 26	自衛隊など国レベルの団体の誘致は、できないか。水産業、研究機関など。
南有馬 27	防災無線の活用 大雨、台風時の通行止め箇所のお知らせ等
南有馬 28	豊かな自然環境を持ちながら子育てなどには良い周りを見てもほとんど子供たちは県外へ。高齢者家庭ばかりです。若者が働ける場所を作ってほしい。
南有馬 29	・産業を誘致して、市の活性化を図る。・口ノ津、南有馬方面から諫早までの最短の道路を作る。
南有馬 30	・災害時の移動手段は車となるので、駐車スペースの安全な広場は必要だと思う。・携帯電話を利用して確認できるサイトがほしい。
南有馬 31	行事は旧町をもとにしたイベントがほとんど。市全体での一大イベントをやってほしい。
南有馬 32	・住宅地の中に子供を連れて行ける公園がほしい。（遊具が充実している）・雨の日でも安心して遊べる広場があればよいと思う。
南有馬 33	南島原市は田舎だから少ないのだろうかと思うが、山手の方にも街灯をつけていただきたい。道路をもっと広くしてもらいたい。
南有馬 34	・観光名所史跡へのアクセス（交通）・観光名所史跡の整備・お客様を呼び込める環境。水なし水陣「ふかえ」に久しぶりに行って見て、あまりの変わりようにショックだった。何かメイン会場の裏側の様だった。
南有馬 35	アンケートは色々と他のことでもありましたが、何か実現したものがあつたのでしょうか？自分たちの住む街ですから何とか良い方向になりますように期待したい。私達も微力ではありますが、協力して行きたい。大変でしょうがよろしくおねがいします。
南有馬 36	私は歴史や文化のある原城跡をもっと大切に残していただきたい。20、30数年前になるかと思うが、今の天皇様もお立ち寄りなつたほどの原城を生かさなくては南島原市や南有馬町原城は淋しくなるのではないかと思う。どうか多くの方たちが立ち寄られるような街に原城跡の活性化をお願いします。
南有馬 37	アリーナなみたいな大きい体躯間を作る。
南有馬 38	南島原市が誕生した時に、各町で市の職員、市長の出席で話し合いがあつた時、それに出席したことがあるが、町民の意見はほとんど取り上げてもらえなかつたと思う。ほとんど、市の決定済みだからとか、無理だからとか、それは決まっているからとか、何のための話し合いだつたのかと疑問を持ったことがあるので、このアンケートにも期待は持てない。こまごまとした事がなくなつて、あまりにも、おおざつは過ぎる市の運営のような気がする。
南有馬 39	有高跡地利用について、北村西望の生誕地をアピールし、芸術家育成の塾を作る。若い芸術家の卵を育てたら、第二、第三の芸術家が生まれるのではなからうか。指導者、賛同者は全国、世界から募集する。
南有馬 40	私は老人なので、医療の福祉の方に考えが回るが、子供達が多くいたり、自分が若かつたら、又、違ふと思う。例えば、仕事ができる場所とか興味のある事を考えると思う。だからよくわからない。
口之津 1	まずは道路網の整備。諫早から加津佐までの高速道路を作る等してもらいたい、今のスピード、広域化時代に諫早から加津佐までの2時間近くかかること自体、時代から取り残されていると考える。
口之津 2	山間部の道路状況が悪く、夜に公民館まで行くにも外灯が少なく、歩いて行ける距離でも車で走っている。狭い道路の拡大と外灯の整備をしてほしい。
口之津 3	1. 街路樹の整備。2. 公園・広場等の公共施設の充実。3. 廃校の跡地を高齢者等のスポーツ・娯楽・憩いの場所等に改善する方法はないだろうか。
口之津 4	川にへドロ水をながさないように。

口之津 5	企業誘致、若者の就業率の向上、市人口減少の防止、市内の空家対策、大都市圏の定年層への移住アピール、田畑の無料貸与等。諫早の高速 IC まで遠すぎる。せめて鳥原半島入口の愛野町くらいまで高速道路を延伸してほしい、景観では建物の色規制をして自然と調和する街道づくりを。
口之津 6	老後住みやすく、子供を育てやすくしてほしい。大型店舗が多くなり便利ではあるが、商店など、子供が手頃に買い物できる店がなくなってきている。また、外で遊んでいる子供も見なくなってきている。町全体において歩いている人をみない。町に活気がない。老人、大人、子供がふれあえる場がないので、何かないものかと思う。みんな諫早や福岡などへ出て行くと思う。
口之津 7	生産性のある職場づくりで人口流出を防げると思う、
口之津 8	小学生の頃、道で会った人に挨拶しないと親に叱られた。しかし今では夜のウォーキングですれ違う人に「今晚は」と言っても何も返ってこない。地域のつながりが疎遠になった気がします。また、仕事場がなく、老人が多く、若者が減るばかり、とグラフ化するばかりではいけない。雇用創出のチャンスが眠っており、経験豊かなシルバー人材が充実し、市外に出て行った人が安らぎを求めて訪れる場所。それが南島原市である。世界遺産なんて大それたものを目指さないで、もっと小さなこと、例えば公民館レベルのイベントを盛り上げてほしい 料理、たこあけ、編み物教室など 教えたい人、教わりたい人が沢山いる。地域の人がこういう小さな生きがいの場を得てこそ、人の交流が生まれ、防災に通じ、安心と安全を確保できる市になると思う。
口之津 9	後期高齢者なので先が短いため、これからの社会を担ってくださる若い人達にもこのようなアンケートを集め、これからの南島原市の発展につながるようお願いしたい。アンケートをいただきましてありがとうございます。
口之津 10	・地道な活動によるまちづくりを望む、・出題内容が多すぎ、内容から同一な出題も多く、判断に苦労した。内容を精選して出してほしかった、もっと平易、簡単な誰でも回答し易いように出題されるよう希望する
口之津 11	有家中心の行事でなく各地でもお願いしたい。
口之津 12	住宅地域で牛を飼育している農家があり、糞尿の処理が不十分で悪臭に悩まされてる。近くに堤があり、雨期の満水時期には心配になる。年に何回かは防災は十分か見回してほしいと思う。
口之津 13	明るいまちづくりを希望します。頑張ってください、
口之津 14	森林が多いせいか、街なかに街路樹などの緑が少なすぎる。また、公園にしても小規模なものをいくつも作るより、アクセスの良い場所に広く、開放的な環境をもつ公園が必要であろう。高齢化を迎え、老人から子供まで安全に安心してくつろげる憩いの場が必要。産業の活性化はもちろん必要であるし、観光資源の開発、活用も必要。しかし、20年後、確実に到来する高齢化社会に対応するためにも、自然と共生しつつ、くつろぎのある空間を構築することが喫緊の課題と考える。
口之津 15	特に○印を行ってほしい。
口之津 16	これから地域発展するには、町村自体高齢になりつつあり、若い人達が地元で就職活動できるように、大手企業が工場生産できることが地域活性化すると共に他の県から観光に来るように名産物や熊本のグリーンランドみたいな遊園施設など、観光客が集まるイベントなど考えていかねば、地域発展などあり得ないと思います。
口之津 17	20代、30代の方が働きやすく、子育てしていきやすいまちづくりをしてほしい。
口之津 18	第1に交通アクセスの充実を早期に図り、高速道路への時間短縮が不可欠。何をしても、道路が整備されなければ産業も、観光も、人口交流も発展しないと思う。その他の取り組みは、その次の問題である。まずは道路！！
口之津 19	・口之津支所前の公園など、イベント前にならないとキレイにならないのはどうかと思う。・まちづくりには物だけではなく、支所の人達の対応も大事だと思う（支所は入りにくいし対応も不親切）
口之津 20	交通の便が悪いので高速道路をつくってもらいたい

口之津 21	まちづくりも大事だけど、その前に人づくりをして欲しい。市職員の教育方法は、橋下大阪市長のこれからの方針を参考にしたい。市職員の再試験も実施した方が良くと思えば、実行しても良いと思います。
口之津 22	今度のアンケートだけではありませんが、年に何回かもったいないと思うことがありました。通信費と紙の節約です。1軒に1通いいと思う。公共の施設は出来るだけ使用させてください。利用していない施設の利用方法を考えて頂きたい。
口之津 23	島全体に悪臭を放つ牛ふん等の肥料使用管理の対策を行い、他県からの客が海辺で遊ぶのに貝取るな、海草取るな、何事も漁協に金を払えと海を私物化している連中を取り締まる事が大事で他県の客にいやな思いをさせて良い事があるわけなし、客も来ない。
口之津 24	高規格道路の建設につきると思う。
口之津 25	少子高齢化のモデル地区のような市となっている。自然環境の保全や歴史・文化の保全、ジオパーク等も重要であると思うが、商工業の発展、複合商業施設、シネコン等の若者が住みたいと思うような環境になれば、姥捨て山のような地区となることは目に見える。何かに特化したまちづくりを口指すべき。
口之津 26	若い人が南島原市で働けるような町になっていけばいいと思う。農業、漁業、商業、全てにおいて活気つけばと思う。
口之津 27	医療保険の保険料について、1割から3割という割合の基準はどのように決められているのか。具体的に説明してほしい。電話します。私が3割負担しているので、どうしてだろうと不満に思っている。83歳。
口之津 28	いつも要望していることだが、私達の地域は南島原半島の最南端に位置し、交通の便が最悪。今後、ますます高齢化となり、バスを利用するにも隣地域まで歩かねばならず、坂道で、足が悪いとバス停まで行く事も困難である。せめて早崎漁港までバスを運行してもらえれば、地域の皆さんも助かるが、
口之津 29	南島原市の特産物等を使って、加工品、菓子類を考案して、南島原市の土産品としたらと思う。現在あるわかめの加工品（ひよつつる）等ももっと奨励し、拡大し、市の土産品としたらと思う。
口之津 30	高齢者が多い町では、1つのゴミ出しに対しても、出したのに出せない人もいる。どうすればよいかもっと議会での取り組みが必要だと思う。グループホームも町の中に少なく、これから年を取っていくにあたって、どうすればいいか不安。住みやすい町づくりをもっと議会で話し合ってもらいたい。
口之津 31	各町の公園や線路の跡地等、緑を増やす計画があった時、オーナー制等を考えてもよいかと思う。例えば、誕生、入学、卒業、成人、喜寿等各々の苗木を購入してもらい（名札プレートをつける）管理、運営は（問20㉓、もちろん市でも良い）してもらおう。訪ねる度に大きくなるのは楽しみ。梅は桜並木になるのも楽しみだし、オリーブ、椿、梅等、実のなるものは市で収穫できるようになるかも。何十年ぶりの故郷に自分の樹があれば楽しめると思う
口之津 32	大型店舗や娯楽やレジャー施設の充実、小児科や緊急に対する医療の充実、これらがあまりにもなさ過ぎる。口之津町、加津佐、南有馬、端の方も栄える市に。
口之津 33	島原半島は陸の孤島と呼ばれる位、ちょっと不便な交通は、特に千々石～諫早へ抜けるのに国道が通行止めになった場合など、かなり困る。海岸通りは雨がずっとすぐに通行止めとなるし、グリーンドー口は随分整備されてきたけど、この交通の不便さが、島原半島の発展を邪魔しているのではないかと、この、のんびりした故郷は捨てがたいが、子供たちが成長して生活していくには、とにかく仕事がない。なので皆離れてしまう子供達の帰って来られる街づくりを唱えていた人の子供たちも帰って来られたか？高速道路は開通するのか？
口之津 34	南島原市の活性化と明るい町づくりに頑張ってもらいたい。
口之津 35	市街地内の遊休農地が目立つ。市で借り上げ（だめな時は宅地並課税）、ボランティアによる緑地化、花いっぱい運動に結びつける。

口之津 36	先日年金（国民）の手続きに支所に行ったところ、要領よくできず、時間が思うほどかかった。せめて各支所で色々な手続きがスムーズに行くようお願いしたい。各支所に職員が少ないのはわかるが、オールマイティに対応できるようお願いします。
口之津 37	原城跡を見て少しがっかり。具体的にはどうしたらいいのかわからないが、あれだけの反乱があった地をもっと大切にしてもらいたい。天草四郎の奇跡やどれだけの人々の強い思いがあったかを分かりやすく展示してほしい。南島原市はとても住みやすく人々が温かいと感じている。観光地になりすぎると、商業的になるのも心配。農地が山の上まで作っており、上から海を見下ろすとすてきな風景がなによりの財産だと思う
口之津 38	隣の雲仙市では、愛のある町として様々なイベントを企画し、先日2組の結婚式を無料で行っていた。また雲仙の温泉というブランドやB級グルメで大勝を取った豚ポーク等魅力的な物があるが南島原市には何かを企画しようという熱意がない。西有家町ではそうめんがあるがブランド名が島原そうめんなのはなぜか？有家そうめんとして売り出せ！！島原市に西日本最大級の YoumeTown が出来る話があったが、商店街の反対でダメになったが、有家の堂崎の埋め立て、もしくは、加津佐町、新田地区もしくは有馬商業跡地等に誘致してはどうか？南島原市を活性化させるには、雇用を促進し、人材の流出を止め、安心して暮らせる町づくり。衣食住を充実させれば後10年後には、島原市、雲仙市と合併しなければいけなくなるのは目に見えている。
口之津 39	以前にも電話で環境課に報告したことがあります。住宅地での枯れ木・剪定した木々を燃やすことを禁止して欲しいです。本人達はどうも思わないのですが、山の中の住宅ならともかく、そうでない場所では当然、風が強くなくても家の中に煙が入り、洗濯にも匂いがついていてまず、あぶないでう。月に2回も広報誌回覧が回ってきます。一度くらいこの事について掲示されても良くないですか？あと自宅のゴミ小さな物かもしれないませんが雑草・残飯等道路・よその土地に捨てられれている高齢者がいます。こういうのは街を良くする以前に人として最低のモラルです。
口之津 40	市民全体にての協力が必要となるでしょう。
口之津 41	山手の方に住んでいますが、道路がせまく、道面ががたがたです。側溝にみぞぶたをしたり、道幅を広げたりしたら利用しやすくなる。
口之津 42	働く場所・他地区からの人の交流がないと、南島原市に住む人は輝きません。働く場所を作ってください。
口之津 43	各地区（旧町）に合った町づくりをしたほうが良いと思う。
口之津 44	・早崎のおばあちゃんが1軒あったスーパーがなくなったとあって、大屋から町まで80過ぎた方が片道歩き、帰りはスーパーの自動車ですてもらった。市バスを、各部落に停留所を決め、時間を決め、いろいろの用事を済ませるようにしたらどうか。・デイサービスの方は一人一人家まで迎えに来ていますが、バスに乗ってもらうのはどうか。
口之津 45	財政が厳しい折柄とは思いますが下水道整備を早期にお願い
口之津 46	農地が荒れて山になっているところが多い。農道の整備が進んでいないため農機が通らず、使用できないからと思う。農道の拡張整備が急務だと思う。
口之津 47	・南島原市としては、幹線道路沿いの美化、廃屋、草、笹等を取り除く事、そして全ての生き物を愛する気持ちを市に暮らす人達が持つことは、日本中へのアピールになると思う。決して、都会化を望むのではなく、この市は違うものを目指してほしい。大企業が目を向けるような、交通のアクセスも大事である。・観光に関しては、南島原市だけでは考えられない。島原半島を取り囲む雲仙市と島原市の3市で話し合わなければ、この先の世代に夢が持てないと思う。
加津佐 1	過疎の町になって近所でも空家が目立つようになってきました。都会から田舎暮らしを始める人が多いと先日テレビでみました。南島原市は自然環境がとても良く、入り込んだら住みやすい良いところです。体験型施設を作るなり、人を呼び込む策をと思います。
加津佐 2	年を増し、病院、商店、交通が近いと良いと思います。
加津佐 3	1人1人がエコな生活をし、未来のため、子どもたちのためのアイデアを出し、市民みんながしあわせだったら良いと思います。

加津佐 4	人口流出のため、企業誘致をお願いしたい。
加津佐 5	・近くにスポーツジムのような施設があったらよい。・ウォーキングが安全にできるような広い公園がほしい。
加津佐 6	若い人達が安心して仕事の出来るような企業の誘致等、福祉面だけでなく、いくつかの種類の誘致を願う 国道沿いの雑草はみるみるひどくなり、そのうち車道の方へも影響があるのではないかと、観光に来た人や車で来た人も、これだけ雑草がひどいと2度と足を向けないのではないかと。ジオパークで人を呼びたいなら、足元からもっと地固めが必要ではないかと。
加津佐 7	①若者が県外に流出しないよう働く場の確保を積極的に行ってもらいたい。②南島原市は農林水産業が主流である。もっと自慢の特産物を生かした特産品の開拓をおこなっていただき活性化をしてもらいたい。③将来、南島原市をささえる子供達の育成のため、もっとスポーツ施設の充実をはかってほしい。
加津佐 8	いきいきとしたまちづくりのためには様々なことが必要だが、若者が地元に残れる生活環境をつくるのが一番大切だと思う。観光施設、レクリエーションの場の充実等に合わせた雇用の場が市内にたくさんほしい。また、地域の特色を生かし、魅力あるまちづくりを各町に1つづつでもほしい。(有家の蔵めぐりのような)
加津佐 9	毎月のリサイクルや不燃物の所にいる人の態度がものすごく悪い。リサイクルに関しては午後5時にはもう1人もいなく、ちゃんと仕事をしてほしい。口も悪すぎ、もう少しマナーの良い人にしてほしい。近所の家の犬の散歩の時、リードをつけない上に、糞の始末をしない人がおり、町でも指導してほしい。かなり迷惑している
加津佐 10	道路の整備、グリーンロードが島原半島一周できるよう、加津佐町～北有馬町、及び小浜～愛野間の完成。観光面に力を入れるとともに宿泊施設の整備。
加津佐 11	市職員が先頭に立って年2・3回は休日を利用して道路のごみ拾い、空き缶等の掃除を手本を見せたら、市民も一緒になって明るい町づくりになる。市職員は事務所内外での挨拶が出来ていない。常に頭を下げていたら人物が認められる。
加津佐 12	今、各町夏場だけのプールだが、年間を通して利用出来るプールがあればと思っている。現在は、森山、小浜等のプールを利用している。悪くなったの病院頼りを少なくし、長野県のように医療費削減につなげる道もあると思っている。ぜひぜひ一考を。し尿収集は各自の申込みだが、ゴミ収集のように定期収集もあるのでは。事業も長いのでノウハウがあるのではないかと。
加津佐 13	合併から5年が経過し、市行政も合併当初からして本庁に集約され端しの口之津、加津佐は行政サービスの低下が懸念される。本庁周辺の西有家・有家・北有馬・南有馬は産業もわずかなりとも上昇傾向であり、布津・深江は島原市に近い分、産業発展のメリットはあると思われるが、口之津・加津佐は南島原の端で、かつ雲仙市からも端であり、将来産業の発展がない。本市ももう少し端の地域に力を入れてもらいたい。若者の働く場でもある産業発展をさせる上で欠かせない生活道路の拡充が必要不可欠と考える。大雨になれば通行止めになる国道251号の権田～赤間間を雲仙市と協議して早急に対処してもらいたい。そうしなければ、高齢者ばかりで過疎化に歯止めがかからないと思う。
加津佐 14	皆さん考えいることは同じだと思うが、日々人口が減ってきているようなので、少しでも若い人がこの市に留まるよう、企業誘致を考えるのが一番かと思う 老人、子供ばかりになり、本当に市全体が暗くなってきている。今までの商店街はほとんどがシャッターがおろされ、活気がない。市の中央部はいいが、端の地域は本当にさびれてきている。シルバーボランティアの活動を色々なところに進めてもらったらいいのでは。
加津佐 15	町合併となり、いろいろ行事が行われているが、すべて市庁地中心で動いていると思う。反面、口之津、加津佐は置き去りにされている感じで、これから他の町も参加できるよう交通の便など考えてほしい。夜など参加できないので考えてほしいと思う。行事を行う建物も市庁地には何ヶ所もあるようだが、口之津、加津佐方面は照明、音響のある建物は一ヶ所もない。照明、音響の整った建物をぜひつくってほしいと願っている。

加津佐 16	山あり海あり、かつ暖かく豊かでほこりの少ない土地で、空気がきれいな樹木の茂る環境に良いまちづくり。津波等は内海の為ないとのこと。最良の半島だと感謝している。新鮮なアラカブ他、海の幸は最高で。環境最高。心的に明るく笑顔の挨拶◎大も小も和を広げていきたい。
加津佐 17	80 すぎた高齢者にはこれ以上わけりません
加津佐 18	農業されている方は、猪の対応で大変悩まされている状況にある。→猪の駆除をお願いいたします。
加津佐 19	南島原市の中でも、商業施設のかたよりがあり、買い物をするが、すごく不便である（加津佐町）。野菜類は逆に長崎市内から買って来た方が安くして新鮮である。もう少しスーパーなどができたら助かる。高齢者は食べることが唯一の楽しみである。
加津佐 20	・働く場所を増やしてほしい ・お年寄りにもいきいき生きてもらえるよう年配の方が講師になって講座を開いたり、廃校になった校舎で、元気なお年寄りがいつでも好きな時間に行ける。デイサービスのような交流の場を作ってみてはいかがでしょうか。元気な人が交流が目的でデイサービスに通っている人もいると聞きます。介護保険の節約にもなると思います。
加津佐 21	通学、通勤の道路の整備、いのしし等の農作物被害を減らすこと願いたい。
加津佐 22	まず第一に加津佐～愛野までの道路の整備 市全体から考問えますと深江～島原方面は現在高規格道路が整備されつつあるので問題ないと思うが、輸送道路・観光道路とかがえた場合必須と思う。基幹産業の農業の発展も水産業・その他の発展もないと思う。特に北有馬～加津佐間。
加津佐 23	・若手の老人の活躍を期待する。・総合病院の誘致は難しいので、そこまで行くまでの道路整備（広域農道を愛野までつなぐ）を早くお願いしたい。
加津佐 24	・若い人が南島原市内で働くことができるよう、企業の誘致。
加津佐 25	農地の荒廃や島鉄跡地の利用は、優先課題です。特に気になるのは、島鉄跡地があちこちで少しずつ色々に利用されつつあり、せっかく南島原市の沿線を一本のラインが通っているのに利用できない。市の財産ではないが借りるなどして一本のラインに特徴のあるものを設けられないものか。桜並木とか観光利用できるもの（自転車、マラソン専用道路など）。このラインが沿線に荒れて続いていると、寂れた感じがしてならない。また、農地の荒廃については、市をあげて都会からの利用者（土地貸し出し制度など）を受け入れられないか。追伸：町づくりの基本方針のカラー印刷は、税金のむだ使いの一つと思う。
加津佐 26	島原半島の地域性には特別なものがあるのでは、半島が一つの地域としてその特性を活かした生活基盤・産業基盤の装備が重要。またジオパークとして火山・温泉・歴史・文化・産業を活かした「保養と観光」それにプラスした新たな食文化の確立を図りたい。半島の三つの市がこのような共通の意識を持つため早急に協議の場を立ち上げたい。南島原市はこのような観点（立ち位置）での各種基盤装備を推進したい。
加津佐 27	今の市の中心的な有家に商業施設など集中してる様子、もう少し南側・北側に魅力ある商業施設が出来たら市全体が魅力ある市になるのではないかと。
加津佐 28	南島原は保守的すぎると思う。年配の人達は今の生活のままでいいというかもしれないが、今のままでは、半島の中でも取り残されてしまうと思う。事なかれではなく、この地味な地域を改革してくれるリーダー育成をしてほしい。手っ取り早いのは、議会改革だと思う。一部の支持者からの要望ばかり出す前に、もっと度量を広く持って、前進できるようにリーダーシップを発揮してほしい。いい案が出て、やり方がどうのこうの言っ、潰してはよくならないと思う。市民は見ている。
加津佐 29	加津佐在住。市の会議、イベント等ほとんど有家中心に行われており、出席参加に交通費、時間がかかる。年を取ると参加できなくなるので、できる事はもう少し分散して行ってもいいのではないかと。

加津佐 30	広域農道南有馬坊目木一部普通 根強い理由があると思うが開通に更なる努力を続けてほしい 道路交差点中央に花壇やフ란ターの花など季節の花を設置 用地の取れる道路のみ。歩道、自転車道、計画が必要。
加津佐 31	・今後 10 年先には、空家が相当発生すると思うので、空家を利用した人口減少対策はできないものか。・65 歳以上の農家が多いので（跡継ぎのいない農家）、農地の活用はできないものか。・生産地なのだから、もう少し付加価値をつけての商品作りはできないものか。
加津佐 32	南島原市として 8 町が統合合併したが中心になる町は大変繁栄している現状と思われるが地域間の格差が目立つように感じられる 今後はその点を十二分に検討していただき、本当に合併して良かったと思えるような南島原市になってほしい。市長さんはじめ市議会の方でもよろしくお願ひします。
加津佐 33	高齢者なのでお世話になることばかりで何もできませんが、健康には気を付けて明るく人様にご迷惑をかけないように心がけ、市の発展をお願ひしていくことを心から望んでいる
加津佐 34	島原半島は 1 年通じて温暖な気候に恵まれ農産物は何でもできる所です。農業面では、農業体験又観光面で活用できると思われる。その様な環境の中で最近中山間地において全体的に猪の被害がひどく大変困っている。そこで処理施設・加工施設を作って食用にするなども考えて減らさないと、今までのやり方では増える一方で中山間地から農業は放棄せざる得ない状態になる。早急に考えて取り組まなければならない問題だ。
加津佐 35	公務員の待遇が市内のサラリーマン（民間）と比べてどのくらい差があるか？ 大阪の橋下市長を見習って、公務員給料を市内民間の給料以下にするべし 税金で無駄金ばかり使うな、節約することを市役所は考えるべき。
加津佐 36	・学校統合により、校舎校庭の活用：口之津第三小は素晴らしい景観であり、校舎は小中高校生の体験学習の場として使う。・教育を充実したものにある。・職場の確報で活力ある町づくり
加津佐 37	・南島原市に住みたいと言われるような市になってほしい。・小さな子供も遊べる緑豊かな公園、水辺サイクリングコース・地産地消、リサイクルなどで住みやすい、生活しやすいまちづくり。
加津佐 38	空き地や道路端、雑草や竹が茂っているところがある。雲仙市は同夜や空き地に花など植えてあって整備されている。ゴミが落ちていたりして汚い。もっと町をきれいにしてほしい。大きい所に目を向けずにまず足元からまちづくりをしてほしい。ガードパイプがおれたり、はずれたりしている。みぐるしい。そんなとことか見直してほしい。
加津佐 39	加津佐にきてまず思ったことはお店がなさすぎるということ。もっと大きなお店をつかってほしい（イオン、ダイレックス、TSUTAYA、マルキョウなど）。大きな店ができるとう商店街の人達が不満でしょうから、商店街の人の店の入った大きなお店が作れるといいと思う。正直商店街での買い物は駐車場が狭すぎていきたくない 後、高速道路ができてほしいと思う。
加津佐 40	女一人でも安心して生きていけるイジメのない南島原市を望みたい。
加津佐 41	・観光や島原ジオパークなど発信するのはいいが、自然エネルギーをこれだけ利用している、地球環境保全にこれだけ力を入れている、常に先に行っている、と発信する。・東北震災復旧が何年か進行すると、地球温暖化の話に戻るはず。南島原はエコの町にして、観光をアピールできる。
加津佐 42	・高齢者が住みやすい町にしてほしい。・公共施設を充実させ住みやすく、誰もが住みたいと思える町づくりをしてほしい。
不明 1	加津佐住民としては、商店の不便さ、交通の不便さが不満。
不明 2	きれいな街並み（どこにもゴミが落ちていない）
不明 3	子供達が遊べる町にしてほしい 大きい公園等子供が来たがるところがあれば、自然と大人がついてくるので、買物もついでにしていくのではないのでしょうか。そこで、イベントなどするのも有りではないか。

不明 4	南烏原市においては、廃校となった建物を利用して、陸上で水産関係と連携して単価が高い魚養殖への利用をすべき。例えば、「フグ、チョウザメ」等の養殖。また、製麺産業等に生かせないか。建物を無償提供し各種産業の誘致ができないか等、思い切ったことが必要ではないか。
-------------	---

参考資料 2 意見交換会の概要

1. 口之津地区

■日時：平成 24 年 11 月 27 日（火）19：00～

■会場：口之津公民館

■参加者数：14 名



■参加された感想

有意義だった	まあまあだった	つまらなかった	無回答
2	5	2	5

■まちづくりの説明会等への参加意向

参加したい	どちらでもよい	参加したくない	無回答
2	7	0	5

■自由記述

- ・本日の都市計画マスタープランの説明会は大変有意義でした。マスタープランに基づき、20 年間の間に少しでも計画が達成できるよう祈っています。方向づけは良いと思います。限られた財源の中で厳しいと思いますが、市民の知恵を出し合っていきたいものです（貝瀬自治会長 永田邦弘）。
- ・20～25 年先のイメージということで、総論的になるのはある程度やむを得ないが、具体案、数値目標に欠ける。中短期構想を入れた時間軸をベースとしたプランを早急に準備願いたい。
- ・旧島原鉄道の跡地の利用。加津佐～口之津間は遊歩道に良いと思います。
- ・前浜海水浴場から口之津港までの島鉄の跡地を自転車道や遊歩道として再生利用してはどうでしょうか。
- ・自然災害に強い町づくりをお願いしたい。景観も大事だが、市民の生命第一で台風災害に強い町づくりを望む。
- ・各家庭に太陽光発電をいかがかと T E L 有るが、口之津にも荒れた農地が沢山あるので、その土地を利用して太陽光発電所を作ったらどうですか？
- ・運動器具を備えてほしい。
- ・提案：20～25 年先の南島原市の人口増を目指すのには好案はありません。ただ、戦後働きに出られ、定年を迎える年代の人が多くなりました。その人達が老後は口之津で、と希望がもてる町づくりを考えてもらいたい。その為に正月、お盆で帰省される人達の意見及び将来像、考え、希望を聞いてみる会を実施されてみたら如何でしょうか。夕日の美しい早崎の丘に病院からお墓まで整ったリゾート区域も一つの案と思います。

■会場意見（主なもの）

No	区分	主な意見	回答・対応策
1	総論	こういうマスタープランを立てるとするのは良いことであると考えます。出来ることから少しずつ始めていければよいと思う。少しでも市民生活を向上させていくという意識をもってやっていくことが重要である。	（賛同意見）
2	総論	このマスタープランの計画を全て実行したら費用はどの程度かかるのかを試算しているのか。 お金が無ければ実現性に乏しい。もう少し実現できるプランを示してほしい。	本マスタープランは、25年後にこういう町にしていけたらよいという構想であり、具体的な費用までを算出することはできない。 このマスタープランに沿って具体的な都市計画事業やその他の事業が行われることとなる。
3	総論	加津佐・口之津地域だけでもやるのが相当たくさんあるように感じる。これが旧8町分あるということであれば、予算的に大丈夫なのか。	高規格道路の建設等は新規事業であるが、その他の計画は今ある既存のものを有効活用していくものが多く、身の丈に合ったプランにしたいと考えている。
4	総論	20～25年後がスタートというわけではなく、今できるものは今すぐにやっていくという考え方で間違えはないか。	ご指摘の通り、今すぐにできることは早急に対応したいと考えている。
5	将来フレーム	平成49年に44,000人の目標人口を達成するために、何か具体的なプランはあるのか。	目標人口の達成に向けて、まず、産業の活性化に取り組むことが第一である。他の地域にはない独自の魅力を高めることが、市外からの人を呼び込むことにつながると考えている。
6	都市施設整備	貝瀬川の護岸整備が遅れており、コンクリートが剥落しているところがある。沿道整備とあわせて、早急な対応を願いたい。 また、川の土砂も増えてきているので、港の整備とあわせて、川の浚渫も行ってほしい。	貝瀬川については、本マスタープランにおいても「河川環境軸」として、治水面に配慮しながら、良好な河川環境を整備していくものと位置づけていることから、現地の確認を行った上で、適切な対応方策を関係各課と連携しながら早急に検討していきたいと考えている。
7	都市施設整備	大泊地区に住んでいるが、公園等は草刈がなされておらず荒れた状態となっている。都市計画以前の問題として、公園の維持管理をきっちりやってもらいたい。	公園は、市民の休息・レクリエーション機能、地域の防災機能、都市環境の維持・保全等の観点から非常に重要なものと認識している。 ご指摘を踏まえ、現地の確認を行った上で、適切な対応方策を関係各課と連携しながら検討したいと考えている。
8	都市施設整備	住民は、空港や新幹線へのアクセス性が向上することを望んでいる。	諫早方面までのアクセス・利便性向上のため、高規格道路に関しては、今後とも国や県への要望を強く行っていきたいと考えている。
9	都市施設整備・防災	口之津町は、高潮・大潮などで被害を受けやすい。景観を綺麗にすることも大事であるが、人の命が最優先であるため、道路等の嵩上げはできないものか。また、海岸線も補強してもらいたい。災害に強	市としても災害に強いまちづくりは非常に大切であると考えているため、本マスタープランにおいても災害対策について重点的に明記することとしている。

No	区分	主な意見	回答・対応策
10	都市施設 整備 ・防災	地震・津波災害の時の避難場所が明確に決まっていない。高齢化も進んでいるため、避難がスムーズにできるかどうか心配である。 運動公園のように、平常時と災害時に兼用して使える場所を設けてはどうか。	災害時の避難場所については、旧町毎に防災マップを作成しているが、震災前に作成されたものであり、津波等の被害想定が十分になされていない部分もある。 今後は防災関連部局と連携しながら、津波を想定した新たな防災マップの作成、災害別に対応できる避難所の整備を進めていく旨を明記する。
11	都市環境	空き家が増えているので、どうかしなければ自然環境の保全どころではなくなる。	老朽化の進んだ空き家については、改善や除去を推進するための要綱の整備を行うなど、空き家・空き地対策を全市的に推進していくことを明記する。
12	自然環境	白浜海水浴場や漁港では松木の根がむき出しになっているため、早急に手を打たなければ観光リゾートゾーンとして恥ずかしい。この件に関しては、以前から要望を出していたので、市は自治会長の意見を真摯に聞いてもらいたい。	白浜海水浴場から野田浜海水浴場までの国道251号沿いは、観光リゾートゾーンとして、海岸沿いの環境保全を図る場所と位置づけており、松林や砂浜の保全もあわせて行うことを追記する。 ご指摘のあった箇所については、現地の確認を行った上で、適切な対応方策を関係各課と連携しながら早急に検討していきたいと考えている。
13	その他	早崎漁港周辺では、ジオパークを見に訪れた方々からトイレがなくて困るという意見が出ている。トイレの建設には地元の反対もあると聞いたが、計画はどうなっているのか。	(個人意見として回答)
14	その他	現在、市全体で学区の再編が行われているが、廃校の跡地活用についての計画はどうなっているのか。有馬商業高校跡地や小学校跡地等をどのように活用するかが、市の活性化と大きく関わってくる。	有馬商業跡地活用については、外部検討委員会等における協議の結果、「文化スポーツ施設としての活用」を図るという市の方向性が示されている。今後は、施設所有者である長崎県との交渉及び文化スポーツ施設整備に向けての取組みを進めていきたい。 また、学区再編に係る学校跡地の活用方策についても、個々の学校跡地ごとに、適宜活用手法や内容を検討し、地域住民の理解のもと、跡地活用を推進したいと考えている。

2. 加津佐地区

■日時：平成24年11月28日（水）19：00～

■会場：加津佐総合福祉センター希望の里

■参加者数：18名



■参加された感想

有意義だった	まあまあだった	つまらなかった	無回答
3	12	1	2

■まちづくりの説明会等への参加意向

参加したい	どちらでもよい	参加したくない	無回答
7	7	0	4

■自由記述

- ・20年後に期待したい。
- ・夢物語にならぬよう、是非実現させてほしい。未来の子ども達のために。
- ・少子高齢化を防ぐ為に道路の整備が必要と思う。その上で小さな企業でもよいから誘致を図る。
- ・20年後の将来を見据えたプランニングだと思いますが、当加津佐地区は特に高齢化の進み方が早く、市の端になるので、余計に過疎が進むと思われます。何か男性雇用型の企業誘致が最優先だと思います。その為には、地域高規格道路が不可欠だと思います。
- ・農免道路（グリーンロード）が欲しい。
- ・道路が一本欲しい。
- ・海岸線の保全が必要と思う。
- ・早急に野田浜の松林の流出を防ぐ方法を考えてもらいたい。
- ・とりあえず、総合病院、ヘリポートの建設が望ましい。
- ・高齢者の集まりのできる所が是非欲しい。今から先は、若年者は少なくなり、年寄りの集会所がないので。
- ・農業地の整地と荒れ地をなくす。
- ・もう少し調査してほしい。
- ・住人の考えとプランとの開きが大きすぎて、本来の趣旨が薄れている。
- ・現実性が乏しかった。
- ・長期的なプランでしたので、現実味が少ない。
- ・20年後の話なので、夢のような話なので、正直、自分等が活着ているうちに出来る様な話でなかったのが残念。
- ・端の町は発展性が望めない。（両端の町は取り残される。）
- ・参加者が少ない。
- ・産業の集積は実現不可能であろうと考えます。観光業などは短期的なものと考えられる。

■会場意見（主なもの）

No	区分	主な意見	回答・対応策
15	総論	計画全体が漠然としていて現実味が無く、夢のようなプランに思えてしまう。もう少し差し迫ったプランを望む。	本マスタープランは、南島原市の目指すべき都市像及びその実現に向けた「まちづくりの方向性」を整理したものである。
16	総論	20～25年後を見据えているということであるが、その期間内にこの計画のどれくらいが実行できるものなのか。理想を言うことは誰でもできるが、実行できなければ意味がない。	そのため、具体的な施策・事業については、関連する分野別計画で検討するとともに、事業の進捗管理の枠組みについても検討を進めていく。
17	将来 フレーム	本地区においては、高齢化が切実な問題である。目標人口の44,000人まで上げていくための具体的な計画はあるのか。	No. 5を参照
18	土地利用 ・ 都市施設 整備	せっかく特産品のジャガイモがあるのだから、それらを加工できる場所が必要である。そのためには、道路を整備して、小さな企業でもよいので来てもらうようにすべき。企業が立地すれば、若年層の定住促進にもつながるのではないか。	都市の将来像を実現するためには、南島原の地場産品を活かした新たな産業の発展が必要不可欠であり、そのためには、道路等のインフラ整備は重要であると認識している。 貴重なご意見として、今後のまちづくりの参考にさせていただく。
19	都市施設 整備 ・ 防災	大雨時には国道が寸断されて、通行止めになるのはどうかしてほしい。いつも郵便局のあたりまで浸水してしまい、陸の孤島になってしまう。早急な対策を願う。	災害に強いまちづくりは、本市の重要課題であることから、急傾斜地や地すべり対策、浸水対策等に取り組み、災害に強いまちづくりを積極的に推進していくことを明記する。
20	都市施設 整備 ・ 防災	せめて広域農道を一本でも通さなければ、孤立してしまう地域が出てしまう。道路がきちんと整備されていなければ、企業が立地できない。	No. 18・19を参照
21	都市環境	現在実施している体験農園や民はかなり人気が高い。将来を見据えて、これらを更に充実させていくべき。	ご指摘の通り、今後は関係各課と連携しながら、グリーン・ツーリズムやブルー・ツーリズムなどの受け入れ基盤となる民泊事業者の拡大・育成に取り組み、地域の魅力のPRに努めていくことを明記する。
22	都市環境	空き家が増加しており、不動産が売れない状況にあるため、20年後が不安である。	No. 11を参照
23	自然環境	野田浜の松林や砂浜が年々減ってきている。日頃から現場でチェックして、砂の採取をやめさせるべき。美しい野田浜は市の宝なので、大切にしなければならない。	NO. 12を参照
24	その他	例えば、大きな競技場を作るなどすれば、相乗効果により人が集まるのではないか。	貴重なご意見として、今後のまちづくりの参考にさせていただく。

3. 有家地区

■日時：平成24年12月4日（火）19：00～

■会場：有家コレッジヨホール

■参加者数：12名



■参加された感想

有意義だった	まあまあだった	つまらなかった	無回答
4	5	0	3

■まちづくりの説明会等への参加意向

参加したい	どちらでもよい	参加したくない	無回答
4	5	0	3

■自由記述

- ・道路整備の充実を。国道、県道含め、歩道を設置していただきたい。
- ・マスタープランそのものは素晴らしいけど！！一つでも早く実現できますように期待しています。
- ・今後の進捗状況のPRをお願いします（マスタープラン）。

■会場意見（主なもの）

No	区分	主な意見	回答・対応策
25	総論	このようなマスタープラン自体は良いと感じるが、20年後を見据えた計画と聞いてがっかりしている。市民としては、具体的に今すぐ出来るプランを考えたい。3～5年後を見据えた、もう少し具体的なプランがほしい。	No. 15・16参照
26	総論	この計画のPRはどのように行うのか、施策の進捗状況の管理についてもPRしてほしい。	今回の意見交換会や策定委員会での検討結果を踏まえて取りまとめた素案については、パブリックコメントの実施を通じて公開し、より多くの市民の方々から意見を募集したいと考えている。 パブリックコメントでの意見を踏まえて最終案を作成し、平成24年度の策定を目指している。 計画のPRにあたっては、ホームページ上での公表を予定しているとともに、計画の内容を判りやすくとりまとめた概要版を作成・配布することで、市民への周知・啓発を図りたいと考えている。
27	総論	マスタープランは住民の意向を踏まえた計画となっているのか。	本マスタープランの検討にあたっては、昨年12月に、無作為抽出による市民3,000名を対象としたアンケート調査を実施した。 その集計結果を踏まえた形で、全体構想・地域別構想の検討を行っており、まちづくりの方針において住民の意向を反映させている。
28	土地利用・都市施設整備	合併時には、有家町に本庁機能を整備するという約束があったはずである。	本マスタープランにおいては、市役所から有家庁舎周辺を主要な公共サービス機能が集約した市の中心拠点として位置づけている。 現在、南島原市の本庁機能は旧西有家庁舎に置かれているが、今後は地域間バランスや財政事情等を考慮しながら、住民ニーズに対応した適正な本庁・支所機能の整備についての検討を進めていく。
29	都市施設整備	地域高規格道路については、深江より南は計画が進んでいない。市としての整備に関する方向性・考え方を示してほしい。	NO. 8を参照
30	都市施設整備	有家には、商店街が反対していたものの、大型店舗が入ってきてしまった。そのため、国道251号線は渋滞がひどくなっていることから、運動公園へつなぐルートの整備など、早急な対策を願う。	有家地域における国道251号の渋滞については、市としても課題と認識していることから、渋滞解消に向けた路線の整備を図る旨を追記する。
31	都市施設整備・防災	マリナーパークやみそ五郎の森総合公園が「災害時の市民の避難所として、防災機能を強化」と記載されているが、地	ご指摘を踏まえ、避難所の記載の仕方については再検討を行う。 なお、今後は防災関連部局と連携しながら

No	区分	主な意見	回答・対応策
32	都市施設整備	島原鉄道が廃止されたのは、まちづくりの観点からは厳しい。駅下の跡地利用についても検討が必要である。	島原鉄道の廃線跡地については、島原鉄道(株)と協議を重ねながら、一体活用、部分的活用も含めた様々な可能性を検討していきたいと考えている。
33	都市環境	現在ジオパークに関わる取組みが進められているが、素麺を振る舞うなどの具体的な取組みを明記することはできないのか。	島原半島ジオパークに関わる取組みは、本市の地域資源を活用した観光振興・交流機会の拡大に向けて非常に重要であると認識している。 そのため、市街地環境形成の方針の中で、ジオパークを活用した体験型観光の推進について追記する。
34	その他	最近、市役所有家庁舎の駐車場が飽和状態となっており、皆公民館に停めている状況なので、どうにかならないものか。	現状を確認した上で、今後の対応策を庁内で検討したい。
35	その他	2年ほど前に「有家地区まちづくり協働プラン」が策定されたが、今回のマスタープランについて、当時の会長には計画の周知を図っているのか。	今回の意見交換会は、都市計画区域内における自治会の代表者を対象に呼びかけを行っているものである。 意見交換会や策定委員会での意見を踏まえた修正を行った上で、パブリックコメントを実施し、素案に対する意見を広く募集したいと考えている。

4. 西有家地区

■日時：平成24年12月5日（水）19：00～

■会場：西有家あけぼの会館

■参加者数：12名



■参加された感想

有意義だった	まあまあだった	つまらなかった	無回答
4	7	0	1

■まちづくりの説明会等への参加意向

参加したい	どちらでもよい	参加したくない	無回答
5	6	0	1

■自由記述

- ・若者の働く場所を作って下さい。
- ・各自治会でもう少し協議するようにしたらどうかと思います。
- ・下水道の設置はどう考えていますか。
- ・港等の津波対策は。

■会場意見（主なもの）

No	区分	主な意見	回答・対応策
36	総論	どの施策についても「推進します」と総花的に記載されているが、市としてはどれを中心施策として考えているのか。全ての施策について少しずつ実行していくのか、重点施策を定めてそこに重点投資していくのか。全部を実行するのは、予算的に難しいため、優先順位を付けることが必要ではないか。	本マスタープランに定めた将来像の実現に向けて、特に緊急性を要し、集中的に推進する取組みについては、「重点プロジェクト」として実現化方策に明記することを検討する。
37	総論	各施策について、バーチャートのような形で「〇年から〇年の間に実施する」ということを明記できないか。	本マスタープランは、南島原市の目指すべき都市像及びその実現に向けた「まちづくりの方向性」を整理したものである。まちづくりには長期間を要し、本マスタープランにおいて個々の施策に関する具体的なスケジュールを設定することは難しいため、具体的な施策・事業については、関連する分野別計画で検討するものとする。
38	総論	国や県が何かやってくれるのを待っているだけでは、まちづくりは一向に進まない。自分たちが立ち上がらなければならないと思う。	ご指摘の通り、「私たちがつくるまち」という視点のもと、市民の方にもまちづくりに積極的に関わっていただく「協働」のまちづくりを推進していくことが重要である。目指すべき都市像の部分において、上記のような理念を明確に示したいと考えている。
39	総論	市が決めたものだから受け入れるというのではなくて、自分たちの町のことだから、自分たちで考えることが必要。	
40	将来フレーム	推計人口35,000人を目標の44,000人にまで引き上げるためには、働く場所が不可欠である。国や県に強く働きかけ、若者が働ける場所を誘致できないものか。	No. 5を参照
41	土地利用	有家・西有家区域と加津佐・口之津区域以外で、都市計画区域の拡大は考えていないのか。	都市計画区域については、合併した8町の中でも指定されている地域と未指定の地域が入りまじっている。都市計画区域内ばかりに事業が偏る懸念もあることから、全ての地域が区域指定されていることが理想と考えており、県でも区域拡大に向けた検討を行っているところである。ただし、都市計画区域に指定されると同時に、建築等への規制もかかることとなるので、住民の理解が得られにくいという側面もあり、今後区域の拡大については慎重に検討を行っていく。
42	土地利用	学区の再編が行われているところであるが、今後、施設の統廃合・集約された再には文教エリア等を設定されてはどうか。施設が集約されるのであれば、そのエリアの充実化を図るべきである。	貴重なご意見として、今後のまちづくりの参考にさせていただく。

No	区分	主な意見	回答・対応策
43	都市施設整備	高規格道路を推進することにメリットはあるのか。	島原半島を一周できるような地域高規格道路が整備されると、空港等へのアクセス性が飛躍的に向上することから、産業の集積や交流人口の拡大につながるものと期待される。そのため、市では今後とも整備に向けた国や県への要望を強く行っていきたいと考えている。
44	都市施設整備	有家川の沿岸部、学校周辺の土地に河川公園を作ることはできないか。	貴重なご意見として、今後のまちづくりの参考にさせていただく。
45	都市施設整備	須川は、大雨が降った際に上流に水があふれて危険であるため、早急な対応を願いたい。	ご指摘を踏まえ、適切な対応方策を関係各課と連携しながら早急に検討していきたいと考えている。
46	都市環境	空き家が増加しており、10～20年後にどうなっているのかを考えると心配である。須川商店街も昭和30年代には賑わいをみせていたが、今は殆ど人影が無く寂しい。	No. 11を参照

参考資料3 用語解説

あ	
NPO (エヌ・ピー・オー)	Non-Profit-Organization の略で、営利を目的とせず、社会的使命（ミッション）の実現を目的とする民間組織。「民間非営利組織」と呼ばれる。
オープンスペース	公園・緑地、広場、河川、農地など建物によって覆われていない土地、あるいは敷地内の空地などのうち、道路用地、鉄軌道用地などの交通用地を除いたものの総称。また、都市の中の空地や空間で市民に対して開かれた空間。
か	
街区公園	都市公園法に基づく都市公園の一種で、主として街区内に居住する者の利用に供することを目的として設置される公園。誘致距離 250m、1箇所あたり面積 0.25ha を標準としている。
共同溝	電気、電話、水道、ガスなどのライフラインをまとめて道路などの地下に埋設するための設備。
グリーン・ツーリズム	農村などでの長期滞在型休暇。都市住民が農家などにホームステイして農作業を体験したり、その地域の歴史や自然に親しむ余暇活動。
(経済の) グローバル化	情報通信技術の発展や交通手段の発達に伴い、国境を越えて世界的な規模で経済活動が営まれているさま。
景観計画	平成 16 年に施行された景観法に基づき、景観行政団体が良好な景観の保全・形成を図るために定める計画。景観法の基本となる制度で、景観計画には、「景観計画区域」、「景観計画区域における良好な景観の保全・形成に関する方針」、「良好な景観の保全・形成のための行為の制限に関する事項」、「景観重要建造物・樹木の指定の方針」を定めるとともに、条例を定めることによりその他の景観形成に必要な事項等を定めることができる。
下水道	都市の健全な発達や公衆衛生の向上、公共川水域の水質保全を図るため、主として市街地の雨水や汚水を排除し、または処理するために、地方公共団体が管理するもの。
交通結節点	異なる交通手段を相互に乗り換え、乗り継ぎするための施設で、駅や主要なバス停などを意味する。

さ	
自然公園	すぐれた自然の風景地として自然公園法に基づいて指定される地域であり、環境大臣が指定する国立公園・国定公園、都道府県知事が指定する都道府県立自然公園がある。自然公園においては、自然環境の保護と快適で適正な利用が推進されている。
ストック	今までに整備されてきた道路や公園、下水道、建築物などの既存の資源（財産）としての都市施設及び住宅等。
た	
地域コミュニティ	地域住民が自主的に参加し、その総意と協力により、住みよい地域社会を構築することを目的として構成された集まり。
地域高規格道路	全国的な幹線道路ネットワークである高規格幹線道路（高速自動車道等）と一体となって、地域発展の核となる都市圏の育成や地域相互の交流促進、空港・港湾などの広域交流拠点との連結等に資する路線のことをいう。自動車専用道路もしくはこれと同等の高い規格を有し、高速サービスを提供できる道路。
地域地区	都市計画区域内の土地をその利用目的によって区分し、建築物などについての必要な制限を課すことにより、地域又は地区を単位として一体的かつ合理的な土地利用を実現しようとするもの。
低炭素型社会	地球温暖化の原因である温室効果ガスのうち、大きな割合を占める二酸化炭素の排出が少ない社会のこと。
都市公園	都市公園法に基づき、都市計画施設である公園又は緑地で地方公共団体が設置するものや、地方公共団体が都市計画区域内において設置する公園又は緑地に該当するもの。住民の利用に供する身近なものから広域的な利用に供するものまで、様々な規模、種類のものがある。
都市施設	道路、公園等、都市の骨格を形成し、円滑な都市活動を確保し、良好な都市環境を保持するための施設の総称。
土地利用	ある地区の土地を様々な用途及び形態に使い分けること。都市計画ないし都市地理的な視点から用いる。
土地区画整理事業	土地区画整理法に基づく、土地の区画形質の変更や公共施設の整備に関する事業。快適な都市環境をつくるため、面的整備がされていない市街地について、土地の区画の整形化や、土地の所有者から土地の一部を提供していただき、新たに公園や道路を整備するもの。

は	
バイオマス	再生可能な生物由来の有機性資源のことで、化石燃料を除いたもの。
バリアフリー	障がい者や高齢者等が社会生活をしていく上で、障壁（バリア）となるものを除去（フリー）すること。物理的、社会的、制度的、心理的な障がい、情報面での障壁などすべての障壁を除去するという考え方。
パークアンドライド	自宅から自家用車で最寄りの駅またはバス停まで行き、車を駐車させた後、バスや汽車等の公共交通機関を利用して目的地に向かうシステム。
や	
ユニバーサルデザイン	高齢者や障害者だけでなく、すべての人にとって使いやすいデザインのもの。バリアフリーをさらに発展させた考え方によるもので、誰もが共有できるものを目指している。
ら	
ライフライン	上下水道、電気、ガス及び電話など人々が日常生活を維持するために不可欠な供給システムの総称。